

自転車まちづくり事例集

公益財団法人

自転車駐車場整備センター

◆ はじめに

(公財)自転車駐車場整備センターは、1979年の創設から30年以上にわたり、主に駅周辺において自転車駐車場の整備・運営を行ってきました。近年では全国の放置自転車台数が1980年代のピーク時と比較し10分の1以下に減少しており、駅周辺の放置自転車問題の軽減に当センターも一定の役割を果たせたと考えています。

一方、近年、環境にやさしく健康増進にも効果のある自転車の利用促進をはかるため、自転車に関する総合的な計画を策定・推進する都市や、コミュニティサイクル等を導入する都市が増えてきています。また、昨年の12月には国会で自転車活用推進法が成立するなど、自転車利用を推進しようとする動きが全国的に始まっています。自転車を歩道や駅前に不法駐輪される迷惑物としてではなく、都市交通体系の主要なプレイヤーのひとつとして位置づけ、その利用を促進しようとする取り組みであり、当センターとしても積極的に関わり、その推進に少しでも貢献したいと考えています。

その一環として、国内において進められている先進的な自転車に関する総合的な計画策定や自転車利用促進のための取り組み等を紹介する「自転車まちづくり事例集」を作成いたしました。

自転車先進国と言われているオランダやデンマークなどヨーロッパの諸都市に比べれば、我が国の自転車に関する施策はまだまだ遅れていると言われていたますが、全国を調べてみるとときらりと光る優れた取り組みがあり、これらの一部を事例集として取りまとめたものです。

これから自転車利用に関する計画策定を予定している都市や、まちなかの駐輪対策を検討されている都市、また、自転車駐車場を他の用途と一体的に整備し複合機能化を図りたい都市など、「自転車まちづくり」に正面から取り組もうとしている地方公共団体等の一助となれば幸いです。

平成29年3月

公益財団法人
自転車駐車場整備センター

目 次

1. 自転車に関する計画	1
1－1. 自転車に関する総合的計画	2
1－2. 自転車駐車場に関する計画	20
2. 自転車駐車場の整備・充実	23
2－1. 再開発等に併せた一体的整備	24
2－2. 自転車駐車場の複合機能化	31
2－3. 自転車駐車場の機能更新・グレードアップ	37
2－4. 商店街との連携.....	40
3. サイクルステーション	43
4. コミュニティサイクル・レンタサイクル ...	47
4－1. ICTの活用によるコミュニティサイクルの導入	48
4－2. 自転車駐車場の活用	51
5. 自転車利用促進	53
5－1. 公共交通との連携	54
5－2. 自転車駐車場利用者へのサービス向上	56

1. 自転車に関する計画

【11 事例】

- 1－1. 自転車に関する総合的計画.....P.2
- ・全国の交通戦略策定都市の中で、自転車関連計画を策定し、自転車まちづくりを積極的に推進している事例を掲載。
- 1－2. 自転車駐車場に関する計画.....P.20
- ・自転車駐車場に特化した計画を策定し、利用者の利便性向上やサービスの充実に努めている事例を掲載。

1-1. 自転車に関する総合的計画

事例 1

さいたま自転車まちづくりプラン
～さいたまはーと～

■ 計画の概要

- ・ 策定期間：平成 28 年 3 月
- ・ 策定主体：埼玉県さいたま市
- ・ 対象地域：さいたま市全域
- ・ 計画期間：平成 28 年度～平成 37 年度

■ ここがポイント！

- ・ さいたま市では、「環境にやさしい都市」、「スマートウェルネスさいたま（健幸づくりを志向する都市）」を目指し、自転車を活用したまちづくりと利用環境の向上を推進。
- ・ 「自転車まちづくり大綱」を策定するとともに、自転車まちづくり推進課を設置し、「たのしむ」、「まもる」、「はしる」、「とめる」を柱に総合的な自転車まちづくり施策を推進。
- ・ 自転車まちづくりにより期待される効果（「くらし」や「まち」に与える変化）をわかりやすく提示。



自転車のまちづくりを進めることで・・・

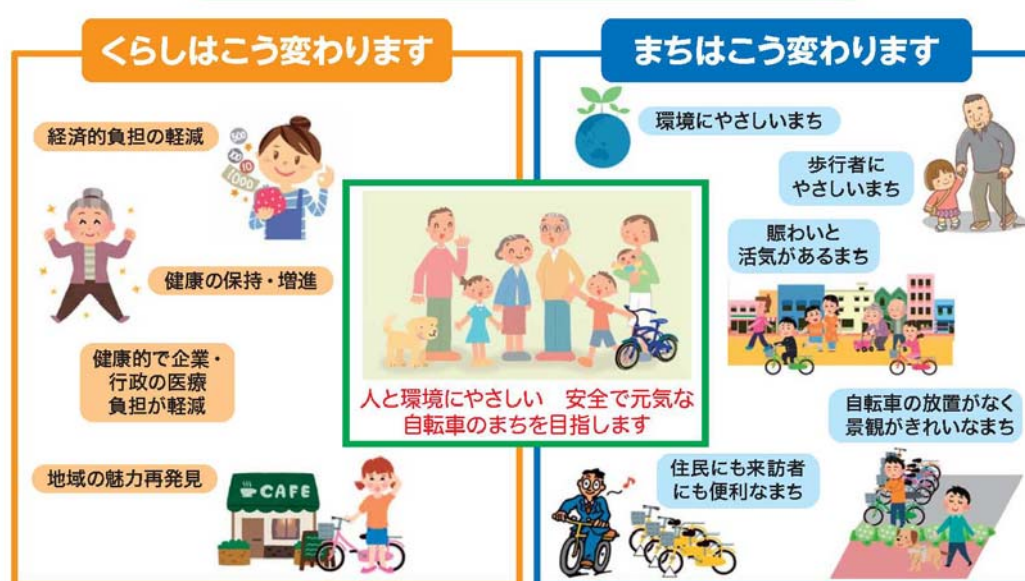
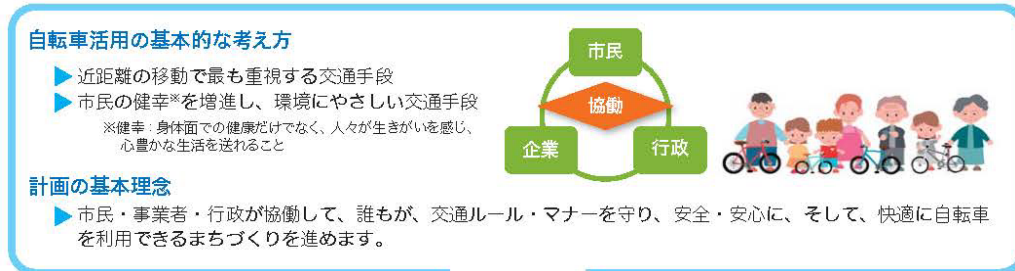


図 自転車まちづくりにより期待される効果（例）

■ 将来像・目標・計画の柱

- ・自転車の魅力と地域資源を活かし、現状の問題・課題を解決していくため、目指すべき将来像と計画目標を設定。
- ・将来像の実現に向けて、「たのしむ」、「まもる」、「はしる」、「とめる」の4つの柱の施策を総合的に推進。



計画の将来像

人と環境にやさしい 安全で元気な自転車のまち さいたま

- ～健康増進など「元気な暮らしを支える体力づくり」
- ～環境負荷の軽減など「快適を未来につなげるまちづくり」
- ～誰もがルールとマナーを守る「思いやりのある人づくり」
- ～自転車で走り、楽しさや喜びなど「風を感じる空間づくり」

計画の目標

※1 H26市民アンケート結果
※2 H26実績（埼玉県警提供）



計画の柱



図 さいたま自転車まちづくりプランの基本体系

1-1. 自転車に関する総合的計画

事例2 静岡市自転車利用計画（基本計画編）

■ 計画の概要

- ・策定時期：平成27年3月
- ・策定主体：静岡県静岡市
- ・対象地域：静岡市全域
- ・計画期間：平成27年度～平成46年度

■ ここがポイント！

- ・平成27年度から平成46年度までの20年間の計画期間とし、静岡市総合計画と整合。
- ・市内の11局24課が連携した検討連絡会議や作業部会、分科会等で方針や事業案をとりまとめ、学識者や市民、経済界、交通事業者、警察などから構成される外部委員会「自転車を活かしたまちみがき検討会議」での意見を踏まえて策定。
- ・自転車まちづくりの展開イメージを「都市の将来像」としてわかりやすく提示。

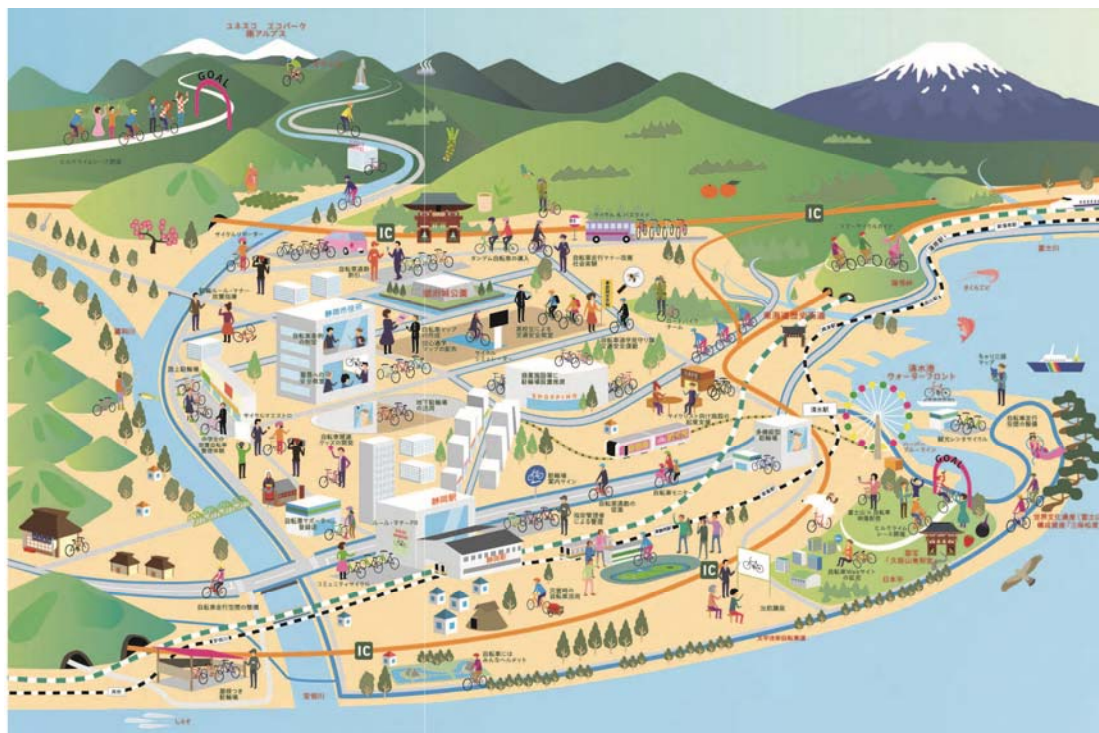


図 都市の将来像

■ 将来像・目標・計画の柱

- ・ 基本理念である「世界水準の自転車都市“しずおか”」を実現するために、6つの基本目標を設定し、自転車を取り巻く環境、自転車のメリット、静岡市の特性やこれまでの自転車関連の取り組みを踏まえ、静岡市の自転車利用に関わる課題の解決に向け、3つの対応の柱に基づく取り組みを推進。

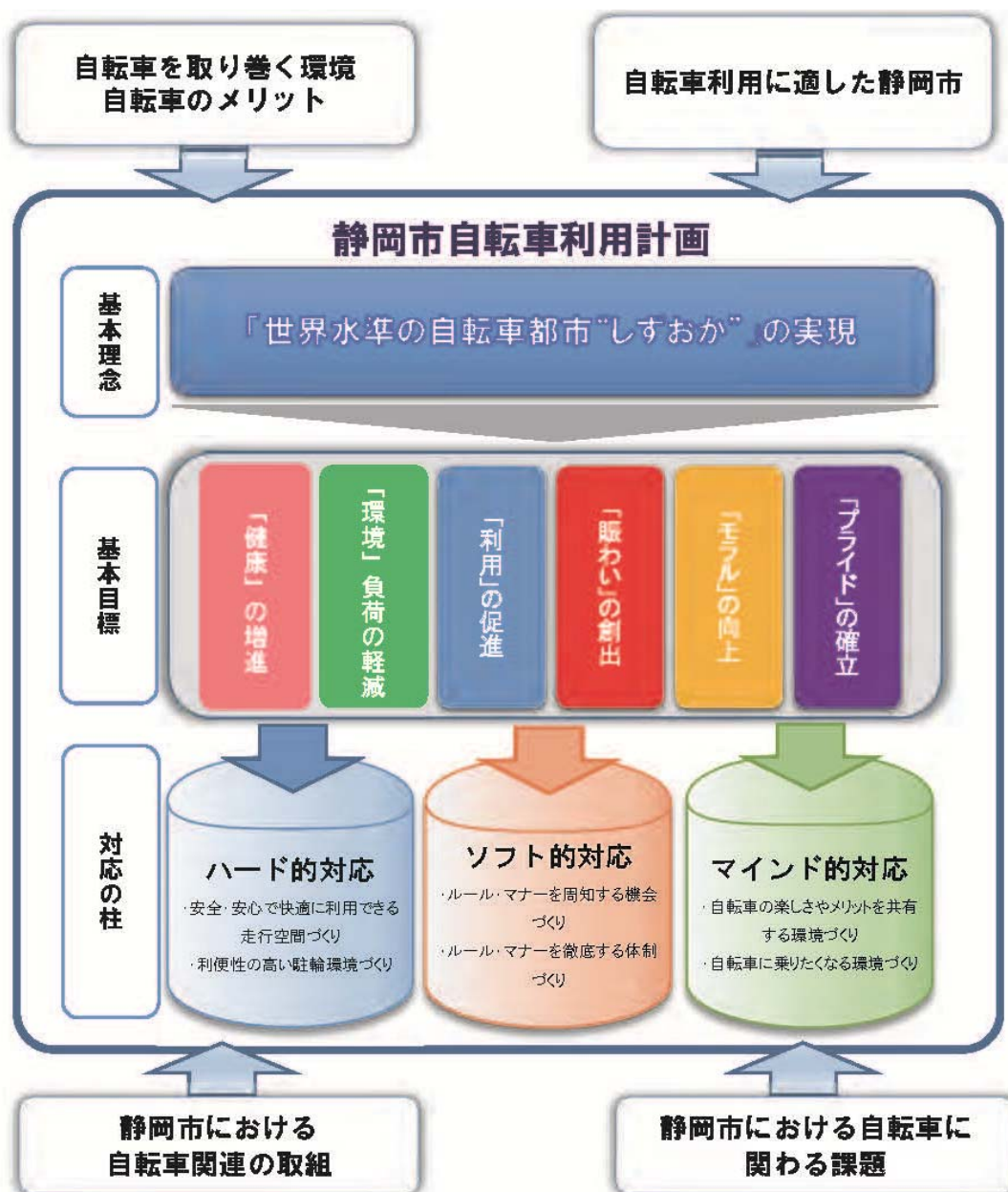


図 静岡市自転車利用環境計画の基本体系

1-1. 自転車に関する総合的計画

事例3

京都・新自転車計画 ～みんなにやさしいサイクルPLAN～

■ 計画の概要

- ・策定期間：平成27年3月
- ・策定主体：京都府京都市
- ・対象地域：京都市全域
- ・計画期間：平成22年度～平成31年度
※平成22年3月に策定された「改訂京都市自転車総合計画」の中間見直し（5年目）

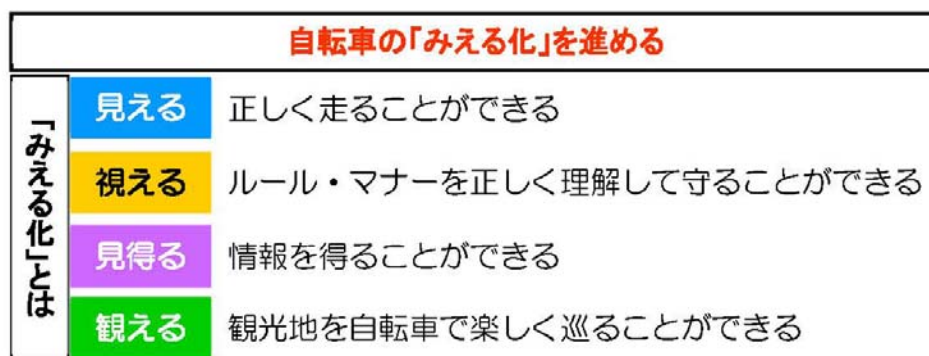
■ ここがポイント！

- ・自転車を取り巻く大きな環境の変化等を踏まえ、「改訂京都市自転車総合計画」を見直し。
- ・自転車の走行環境やルール・マナー等の「みえる化」をキーワードに、だれもが安心して心地よく行き交うことができる「世界トップレベルの自転車共存都市」を目指す。



■ 将来像・目標・計画の柱

- ・「だれもが安心して心地よく行き交うことができるまち 京都」を目指し、自転車の「みえる化」を推進。「見える」、「視える」、「見得る」、「観える」の4つの観点から、①自転車走行環境、②ルール・マナー、③自転車駐輪環境、④自転車観光、⑤自転車関連施策の「みえる化」を計画の柱に位置づけ。



だれもが安心して心地よく行き交うことができるまち 京都

<取り組み工程>

注) 取り組み内容や工程は、京都市会の審議及び予算の状況により変更の可能性がある。



図 京都・新自転車計画の5つの「見える化」の方向性

1-1. 自転車に関する総合的計画

事例4 堺市自転車利用環境計画

■ 計画の概要

- ・ 策定期間：平成 25 年 6 月
- ・ 策定主体：大阪府堺市
- ・ 対象地域：堺市全域
- ・ 計画期間：平成 25 年度～平成 34 年度

■ ここがポイント！

- ・ 基本理念に「自転車のまちづくり」を明記し、市民、事業者、行政による協働を推進。
- ・ 堺市ホームページにおいて、「自転車まちづくり」に関するコンテンツを集約して公開。本計画をはじめ、自転車の安全利用（ヘルメット着用や保険加入）等に関する条項を位置づけた「堺市自転車のまちづくり推進条例」の内容やその検証結果などの取り組みを明示。



図 「自転車まちづくり」の関連施策を集約したホームページ

■ 将来像・目標・計画の柱

- ・『「自転車のまち 堺」の飛躍～自転車を利用しやすいまち～』の実現に向けて、自転車の持つ4つの要素「つかう」「まもる」「とめる」「はしる」を計画の柱に設定。自転車の利用割合の向上、自転車関連事故の削減、市民満足度向上を目指す。

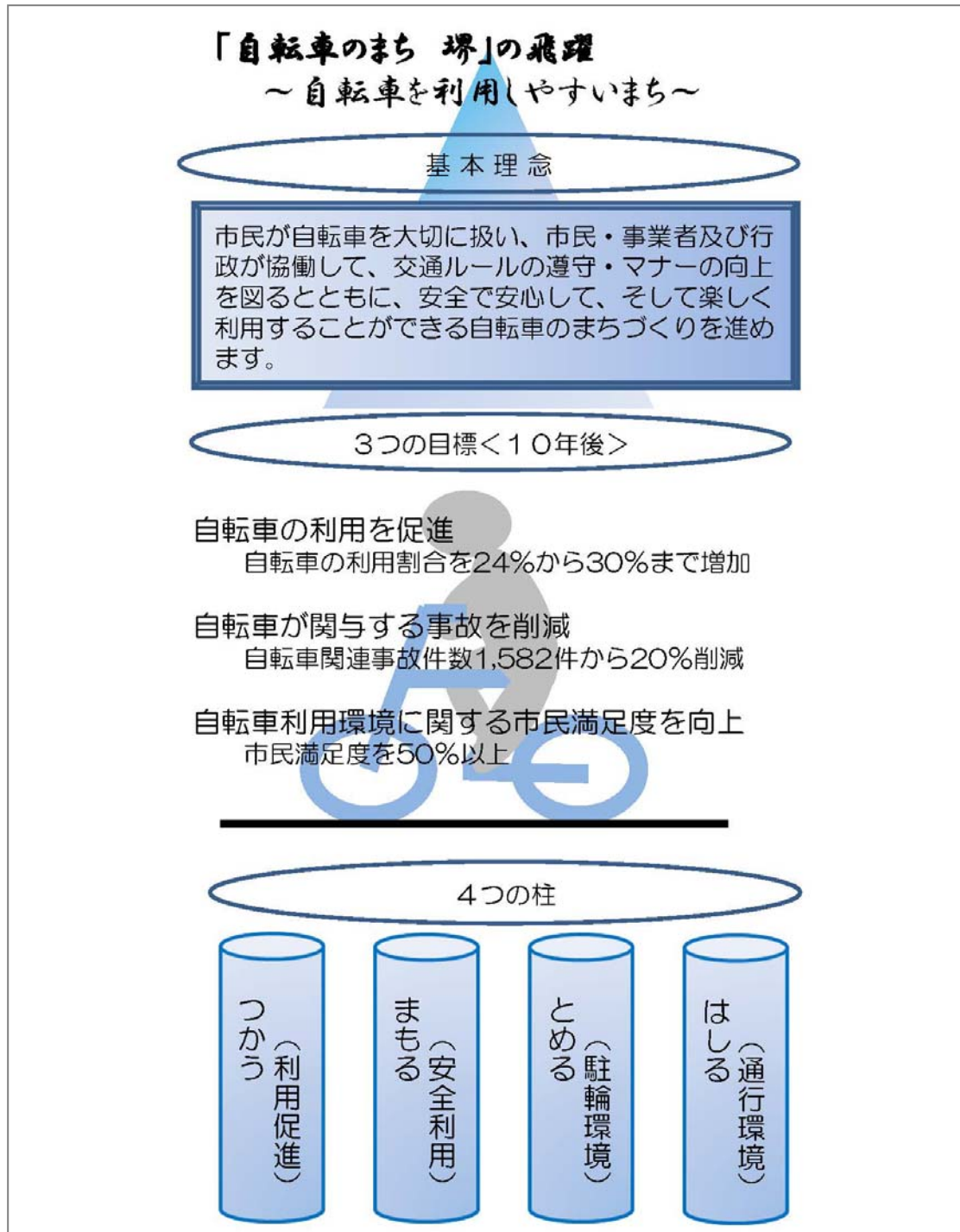


図 堺市自転車利用環境計画の基本体系

1-1. 自転車に関する総合的計画

事例5 自転車先進都市おかやま実行戦略

計画の概要

- ・策定期間：平成24年8月
- ・策定主体：岡山県岡山市
- ・対象地域：岡山市全域
- ・計画期間：平成24年度～平成33年度

ここがポイント！

- ・岡山市都市交通戦略では、「充実したネットワークと誰もが利用しやすい公共交通」、「人のにぎわう、歩いて楽しい都心空間の創生」を岡山市が目指す交通の姿とし、その中で、岡山市にふさわしい交通の一つとして、「岡山の気候や地形に適した自転車」を位置づけ。

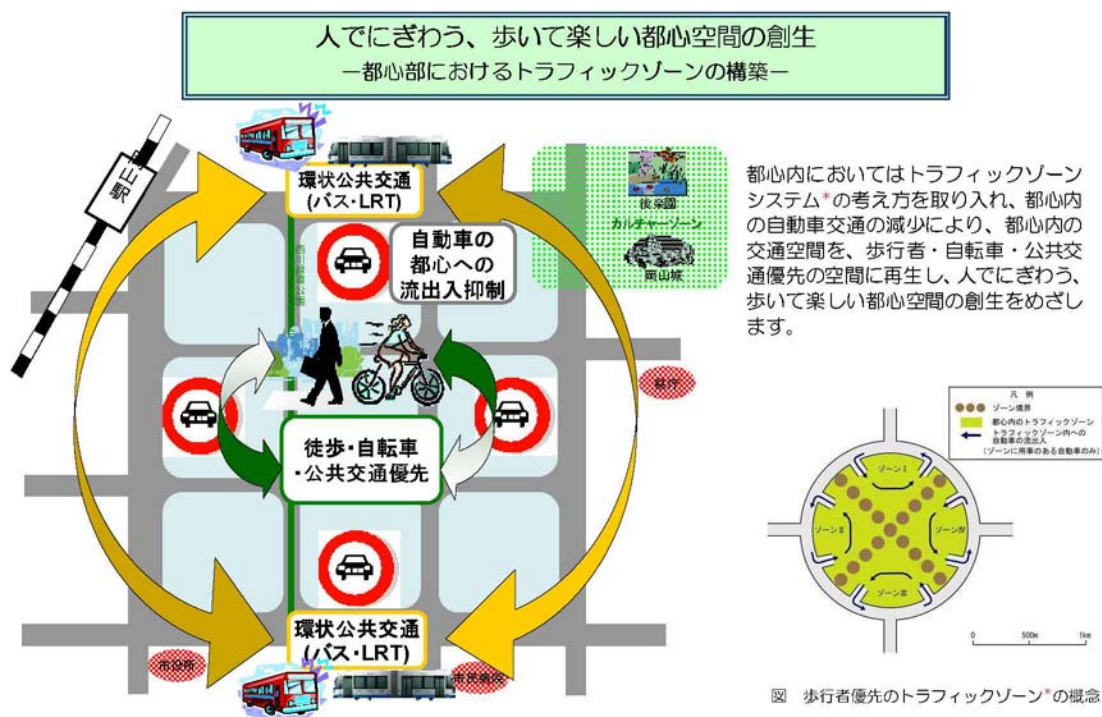


図 岡山市都市交通戦略で目指す交通のすがた

■ 将来像・目標・計画の柱

- 岡山市では、「誰もが自転車を“安全”で“便利”に“楽しく”使うことが出来る都市」を目指し、「走る・停める・使う・楽しむ・学ぶ」を戦略の柱に位置づけ。

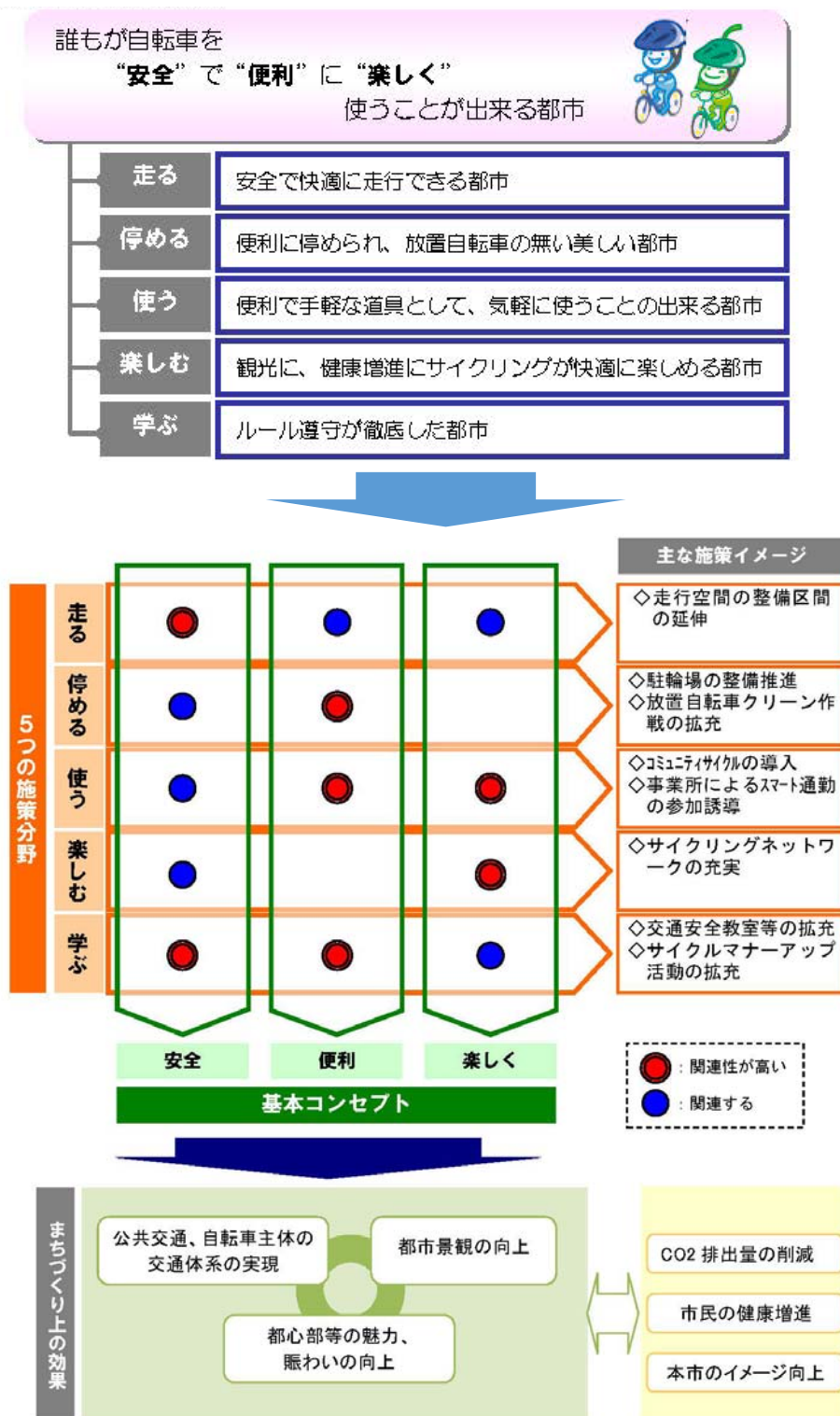


図 自転車先進都市おかやま実行戦略の基本体系

1-1. 自転車に関する総合的計画

事例6 北九州市自転車利用環境計画

■ 計画の概要

- ・策定期間：平成24年11月
- ・策定主体：福岡県北九州市
- ・対象地域：北九州市全域
- ・計画期間：平成24年度～平成33年度

■ ここがポイント！

- ・北九州市では「世界の環境首都」をテーマとした多様な取り組みを実践しており、環境にやさしいまちづくりのツールとして自転車総合計画を策定。
- ・「スマートサイクルライフ北九州」により、自転車を活かしたライフスタイルを広く発信。交通安全、教育、観光など多彩なコンテンツをウェブ等で配信。

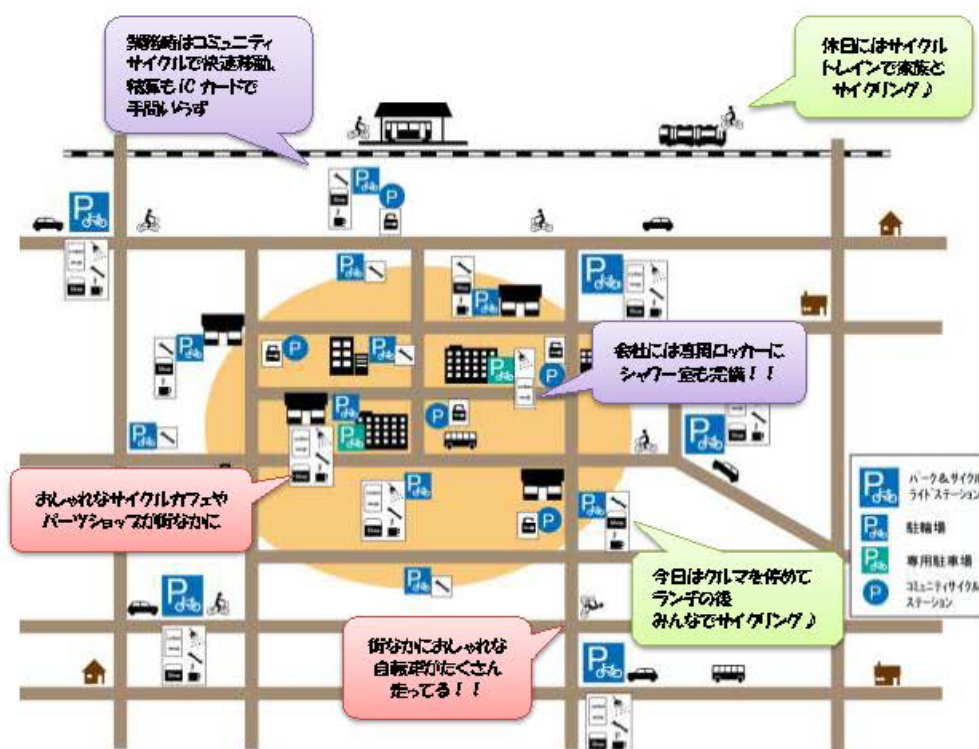


図 自転車のあるライフスタイルのイメージ

■ 将来像・目標・計画の柱

- ・北九州市では、①「世界の環境首都」の実現という明確なコンセプトのもと、②健康増進、③「街なか」の賑わいづくり、④自転車のある新しいライフスタイルの創出を目指し、自転車まちづくりの達成度を図るための定量的な目標指標を設定。

- ・これらの計画の柱に対し、ハード・ソフトの施策を位置づけ。

【ハード】自転車走行空間ネットワーク形成／駐輪環境形成／公共交通との円滑な接続

【ソフト】ルール・マナー・教育／利用促進

- ・起動的重点プロジェクトとして、下記の2つを位置づけ。

①自転車アカデミー（仮称）：自転車利用環境の形成を総合的・継続的に推進する組織

②自転車プラザ（仮称）：新しい自転車文化を象徴するシンボルの機能拠点

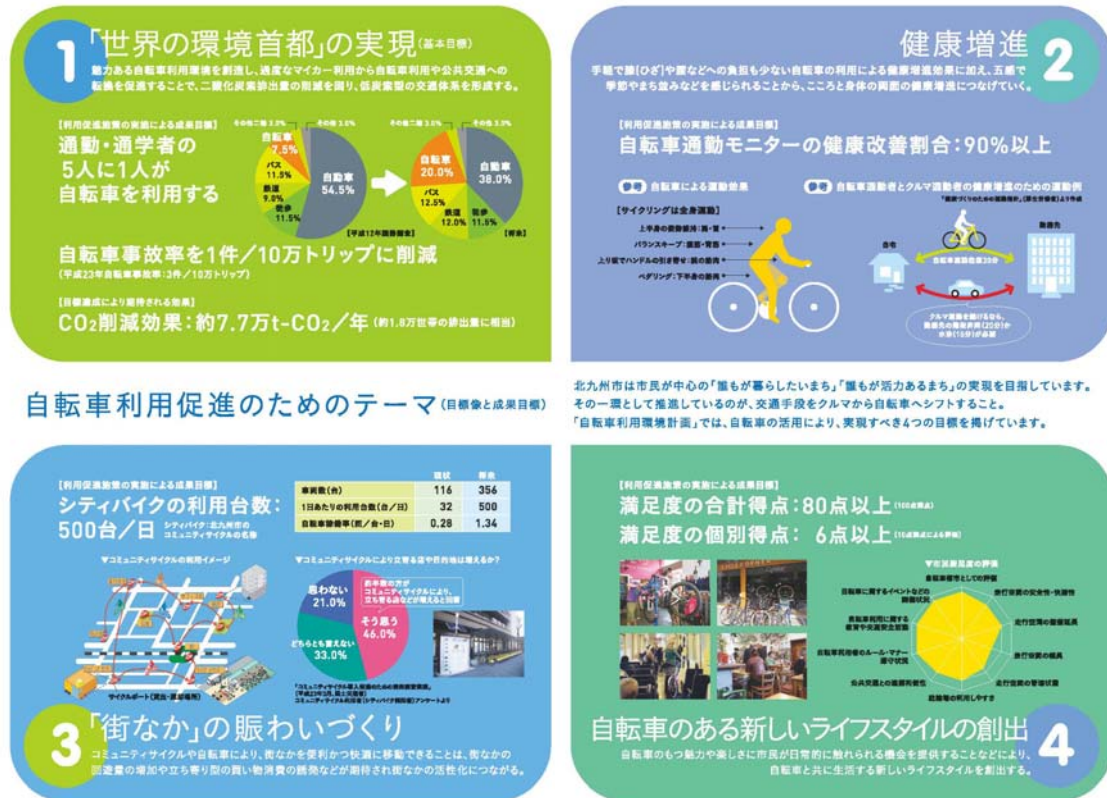


図 北九州市自転車利用環境計画における4つの柱

1-1. 自転車に関する総合的計画

事例7 宇都宮市自転車のまち推進計画

■ 計画の概要

- ・ 策定期間：平成 28 年 3 月
- ・ 策定主体：栃木県宇都宮市
- ・ 対象地域：宇都宮市全域
- ・ 計画期間：平成 28 年度～平成 32 年度
※平成 22 年 12 月に策定された同計画の中間見直し（後期計画）にあたる

■ ここがポイント！

- ・ 全国的にみても早くから「自転車のまち」を標榜し、自転車走行空間整備や駐輪対策、ロードレースの誘致等を積極的に推進。
- ・ ネットワーク型コンパクトシティの形成や LRT 導入を見据えた交通結節機能の強化の一つに自転車の活用を明記。
- ・ 「安全」、「快適」、「楽しく」、「健康とエコ」、「つながる」を柱に総合的な施策を展開。



図 自転車のまち推進計画の施策展開イメージ

■ 将来像・目標・計画の柱

- 宇都宮市では、『「自転車のまち宇都宮」の推進』を基本理念とし、前期計画では「安全・快適・楽しく・健康とエコ」を柱に各種施策を展開。後期計画では、「つながる」を加え、「だれもが自転車で“つながる”～自転車のまち宇都宮～」をサブタイトルに設定。

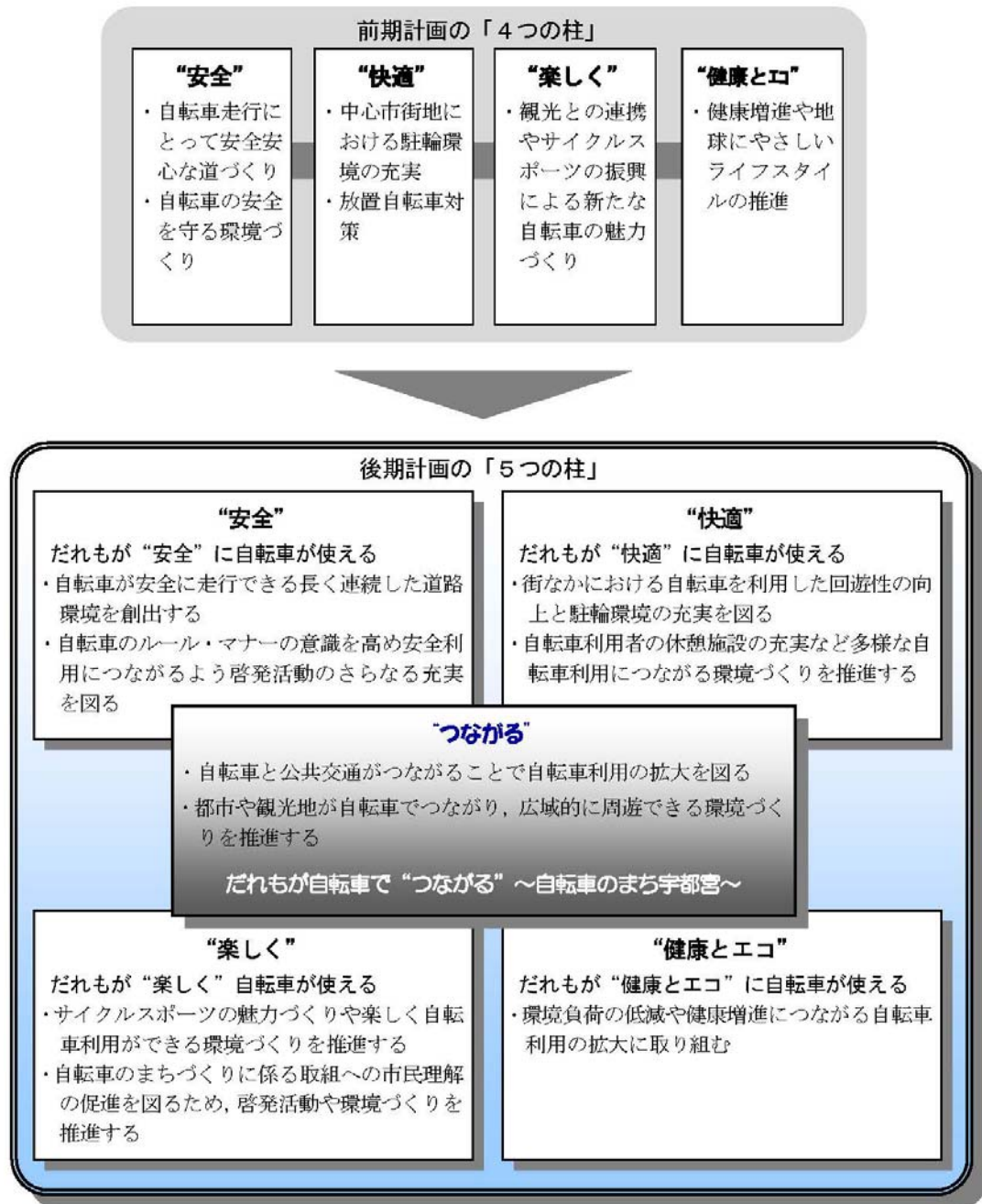


図 宇都宮市自転車のまち推進計画（後期計画）における5つの柱

1-1. 自転車に関する総合的計画

事例8 金沢市まちなか自転車利用環境向上計画

■ 計画の概要

- ・ 策定期間：平成 28 年 3 月
- ・ 策定主体：石川県金沢市
- ・ 対象地域：金沢市中心部
- ・ 計画期間：平成 27 年度～平成 31 年度
※平成 23 年 3 月に策定された同計画の中間見直し（後期計画）

■ ここがポイント！

- ・ 「はしる、とめる、つかう、まもる」の4本柱に関する各種施策を国・石川県・金沢市・警察・学識者・市民が連携・協力しながら推進。
- ・ 2016（平成 28）年に策定された「第2次金沢交通戦略」において、自転車利用環境の向上を明記。

金沢市まちなか自転車利用環境向上計画

【中間見直し】

平成 28 年 3 月

金 沢 市

「第2次金沢交通戦略」が目指す未来のすがた

- まちなかを核にネットワークでつなぐまちづくり
- 歩行者と公共交通優先のまちづくり

都市の競争力・魅力の向上を目指します

イメージ

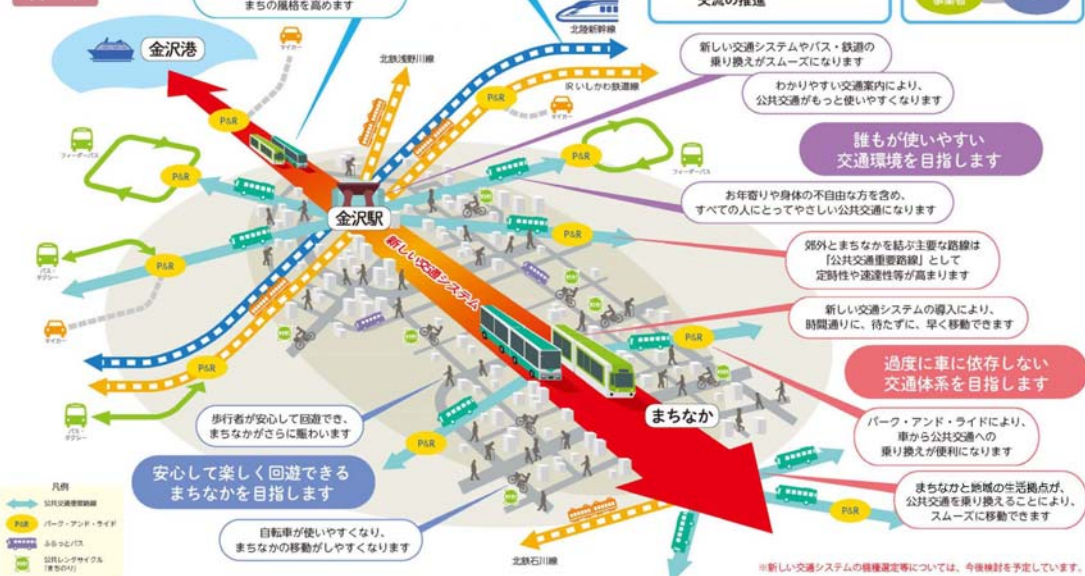


図 第2次金沢交通戦略が目指す未来のすがた

■ 将来像・目標・計画の柱

- ・金沢市では、中心市街地（まちなか）を対象に、基本コンセプトである「自転車を安全・快適に利用できるまち・金沢」の実現に向けて、「はしる」（自転車通行空間整備）、「とめる」（駐輪環境整備）、「つかう」（自転車利用促進）、「まもる」（ルール・マナー向上）の4本柱を設定。
- ・前期5年間で自転車通行空間ネットワークの形成、駐輪場の整備、公共レンタサイクル「まちなか」の導入、自転車マナーアップ強化の日の設定と街頭指導等の実施など、総合的な自転車まちづくり施策を着実に実施。
- ・中間見直しでは、まちなかで確認できた様々な自転車まちづくりの効果を市域全体へつなぎ、ひろめていくことを基本方針に設定。
- ・計画の推進体制としては、学識者・国土交通省金沢河川国道事務所・石川県・金沢市・石川県警察本部及び所轄警察署からなる「金沢自転車ネットワーク協議会」を2011（平成23）年2月に設置。道路管理者と交通管理者の情報共有や共通認識の形成を図りつつ、各種施策を継続的に展開。

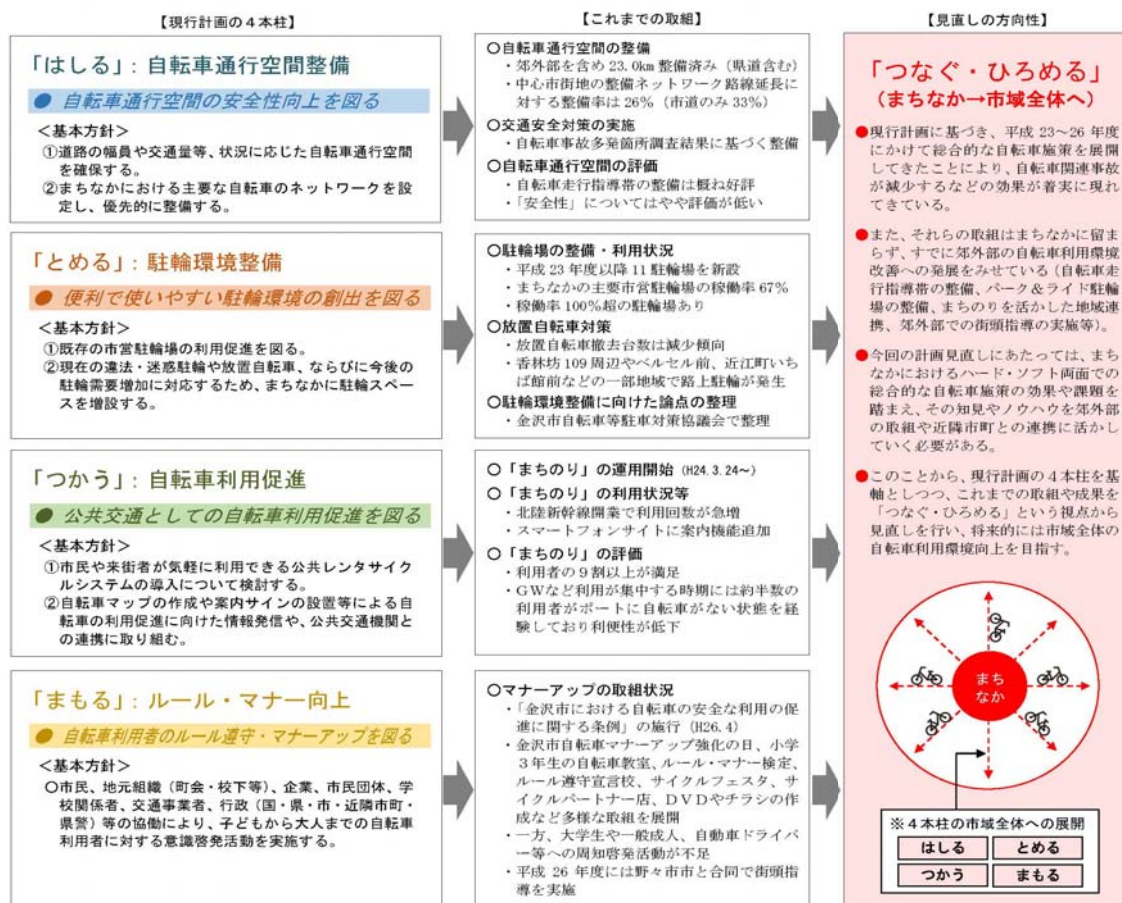


図 金沢市まちなか自転車利用環境向上計画の前期実績と中間見直しの方向性

1-1. 自転車に関する総合的計画

事例9 たかつき自転車まちづくり向上計画

■ 計画の概要

- ・策定時期：平成27年3月
- ・策定主体：大阪府高槻市
- ・対象地域：高槻市全域
- ・計画期間：平成27年度～平成32年度

■ ここがポイント！

- ・上位計画である高槻市総合戦略プランに基づき「ともに支え合う安全・安心のまち」を推進するための計画。
- ・「自転車まちづくりの向上」を計画のタイトルとし、ハード面（自転車利用環境整備）とソフト面（ルール・マナー周知・利用促進）の両輪で自転車利用時の安全性・快適性・楽しさの向上を目指す。
- ・本計画をもとに、平成28年度にはアクションプランとなる「たかつき自転車まちづくり実行計画」を策定。



図 将来像に対する基本的な考え方

■ 将来像・目標・計画の柱

- ・高槻市では、「自転車を安全・快適に利用できるまち たかつき」を将来像とし、その実現に向けたコンセプト（基本理念）として『Fair Traffic』の考え方に基づく「自転車まちづくり」の推進』を掲げ、「はしる、とめる、まもる、つかう」の4つの柱を設定。

【テーマ（将来像）】

自転車を安全・快適に利用できるまち たかつき

- ・ハード面（自転車通行空間や駐輪環境の整備）ならびにソフト面（自転車利用時のルールやマナーの周知、自転車の利用促進）の各種施策・事業を総合的に展開することにより、「自転車を安全・快適に利用できるまち たかつき」の実現を目指します。
- ・基本方針である4つのP（はしる、とめる、まもる、つかう）は、利用者や関係者が一体となって、交通安全・地域活性化・健康増進・環境負荷低減などにつながる「自転車まちづくり」を推進していくための共通の指針とします。

【コンセプト（基本理念）】

「Fair Traffic」の考え方に基づく「自転車まちづくり」の推進

- ・歩行者、自転車、クルマのそれぞれが平等に道路空間を利用することができる「Fair Traffic」の考え方を基本理念として、幅広い年齢層の市民や来街者が安全・快適に回遊でき、安心して自転車を利用できる環境を整備します。

（1）はしる：自転車通行空間整備【Passing】

- 市内の幹線道路やその並行路線等を活用した自転車通行空間ネットワークを構築し、自転車利用者のみならず、歩行者が安全・快適に通行できる道路交通環境を創出する。

（2）とめる：駐輪環境整備【Parking】

- 駐輪需要に対応した、分かりやすく利用しやすい駐輪環境を創出するため、駐輪場の適正な利用を図るとともに、放置自転車の削減を図る。

（3）まもる：ルール遵守・マナー向上【Promise】

- 自転車は「車両」であり、「車道の左側端」を通行することが基本ルールであることを、自転車利用者をはじめとするすべての道路利用者が理解・実践できるよう、自転車利用ルールの周知・徹底とマナー向上を図る。

（4）つかう：自転車利用促進【Promotion】

- 健康増進や環境負荷低減などの自転車利用のメリットを踏まえ、市民や来街者が楽しく快適に自転車を利用でき、自転車の利用促進につながる環境を創出する。



図 たかつき自転車まちづくり向上計画の基本体系

1-2. 自転車駐車場に関する計画

事例 10

第2次千葉市自転車等の駐車対策に関する総合計画～ちばチャリ・Pプラン～

■ 計画の概要

- ・策定期間：平成28年3月
- ・策定主体：千葉県千葉市
- ・対象地域：千葉市全域
- ・計画期間：平成28年度～平成33年度

■ ここがポイント！

- ・本計画では、“「量」から「質」へ”をテーマとし、①駐輪場設備の質及び利便性の向上（利用者満足度や安全・安心の向上、料金体系の見直し）、②駐輪場の整備及び統廃合（駅別駐輪場整備計画に基づく適正配置）、③効率的な維持管理体制の構築（駐輪施設の点検・修繕記録の蓄積）、④民間主体による駐輪場の確保（集客施設や鉄軌道事業者による駐輪場の整備促進）などについて掲載。

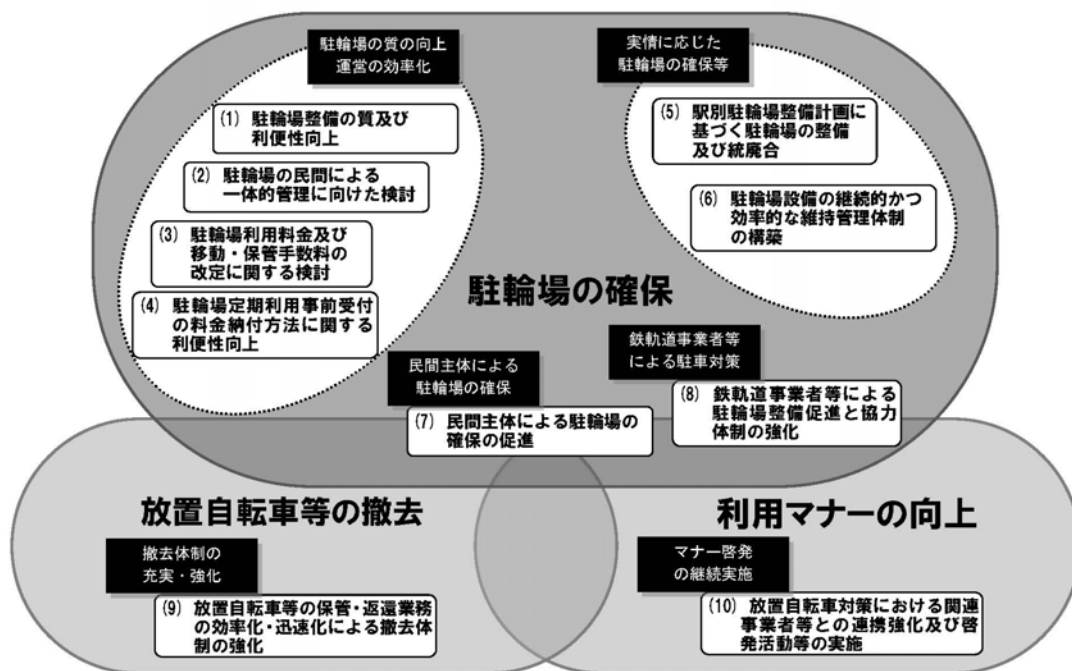
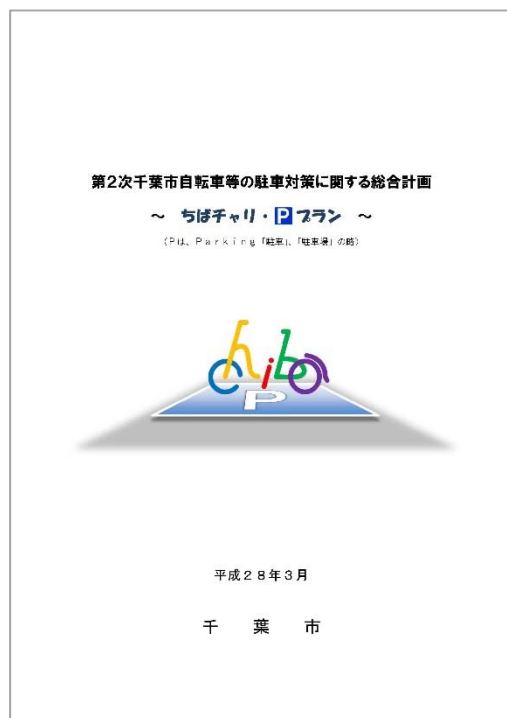


図 ちばチャリ・Pプランにおける代表的取り組みの連関

1-2. 自転車駐車場に関する計画

事例 11

自転車の適正利用に向けた駐輪場利用促進プラン

■ 計画の概要

- ・ 策定期間：平成 23 年 2 月
- ・ 策定主体：神奈川県川崎市
- ・ 対象地域：川崎市全域
- ・ 計画期間：平成 22 年度～

■ ここがポイント！

- ・ 本計画では、「駐輪場の利用促進と効率的な管理運営による持続可能な駐輪場サービスの提供」を目標とし、①駐輪場の利用促進（周辺環境や施設特性に応じた料金の導入等）、②駐輪場・保管所運営の改善、効率化（指定管理者制度の導入等）、③公民連携による駐輪場整備促進（民間事業者による駐輪場整備への補助制度導入等）について掲載。

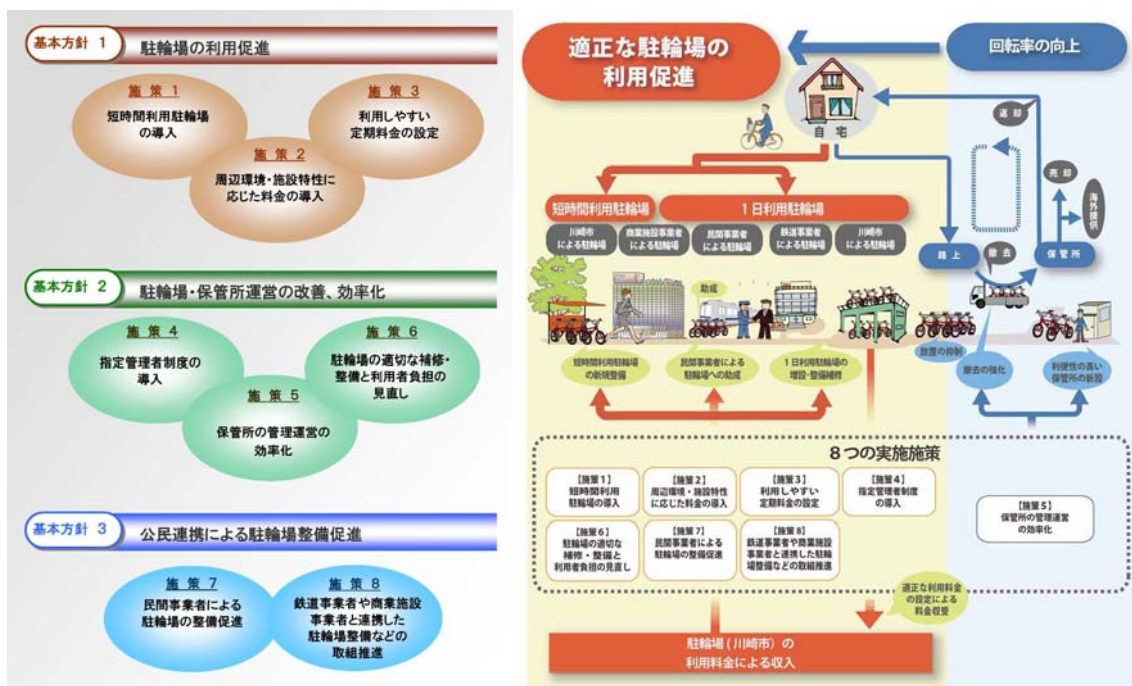
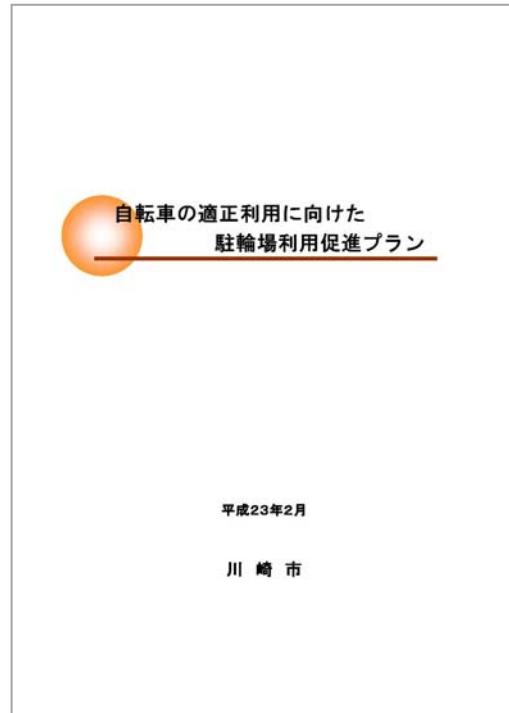


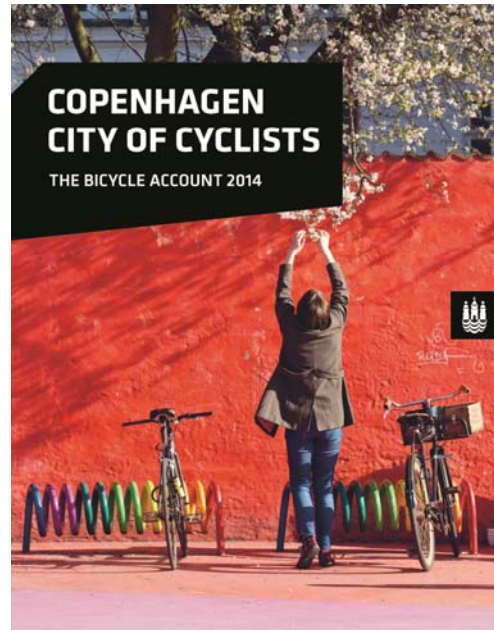
図 基本方針と 8 つの施策の総合的な展開イメージ

海外事例

topics

計画のフォローアップの先進的取り組み 「COPENHAGEN CITY OF CYCLISTS」

- ・世界屈指の自転車先進都市として知られているデンマーク・コペンハーゲン市では、自転車総合計画にあたる「GOOD, BETTER, BEST - THE CITY OF COPENHAGEN'S BICYCLE STRATEGY 2011-2025 -」を策定し、ハード・ソフト両面の自転車利用環境整備を推進。
- ・計画策定後、PDCA サイクルに基づくフォローアップを2年ごとに実施するとともに、「COPENHAGEN CITY OF CYCLISTS - THE BICYCLE ACCOUNT 2014 -」をとりまとめ、市民や自転車利用者にわかりやすく提示。
- ・例えば、通勤や通学で自転車を利用している人（市民だけでなく他の自治体からの流入を含む）の割合が、2012年：36%に対し2014年：45%に増加していることや、この数字をコペンハーゲン市内に居住する人に限定すると、2012年までの平均52%に対し2014年63%に増加していることなど、計画に基づく施策の効果を端的に明示（下図）。わが国の計画行政においても、定期的なフォローアップによる効果のみえる化の展開に期待したい。



TARGETS AND KEY FIGURES

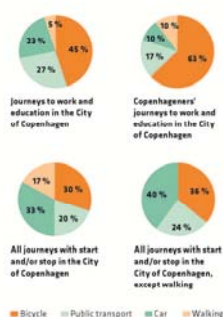
The modal share of journeys made by bicycle to places of work or education has increased by 25% since 2012. In addition, the number of kilometres cycled daily has risen and it takes less time to get from one place to another.

Travel time

In recent years the City of Copenhagen has increased capacity and hence passability: cycle tracks have been widened, contra-flow cycling has been introduced in several sections, and bicycle/pedestrian bridges have been opened. Travel times have been shortened by an average of 7% since 2012. In addition, the number of kilometres cycled per day in Copenhagen continues to rise; on a weekday 1.34 million km are cycled now.

A good cycling infrastructure, shorter travel times and enhanced safety and security are major factors in determining why so many people choose to cycle in Copenhagen. However, there are also other factors: mild winters have encouraged more people to cycle all year round, and the traffic jams caused by the roadworks in connection with the Metro construction have made it easier to travel through many parts of the city by bicycle rather than by car. General information and promotional campaigns also seem to have contributed to the positive trend although there is a certain statistical uncertainty involved in the method of measurement. The coming years will show whether the trend will hold.

BREAK-DOWN OF JOURNEYS IN 2014



36 → 45%

45% of the total number of people working or studying in Copenhagen cycle to their place of work or education. The figure includes both Copenhageners as well as people from other municipalities who work or are being educated in Copenhagen.

52 → 63%

If we focus solely on residents of the City of Copenhagen who work or study in the city, the bicycle's modal share is 63%. In 2012 its modal share was 52%.

TARGETS STATED IN GOOD, BETTER, BEST. THE CITY OF COPENHAGEN'S BICYCLE STRATEGY 2011-2025

'04	'06	'08	'10	'12	'14	'15	'25	
36	36	37	35	36	45	50	50	Proportion of people who cycle to work/education (%) *
58	53	51	67	76	74	80	90	Proportion of cycling Copenhageners who feel secure (%) *
125	97	121	92	102	91	56	34	Cycling casualties (number per year) *
					17	19	40	Proportion of PLUS network that has 3 lanes (%)
					0	7	5	Reduction in cycling travel time (%)
50	48	54	50	61	63	70	80	Satisfaction with state of cycle tracks (%)
					67	73	70	Satisfaction with cycling culture's impact on urban life (%)

*Targets included in the City of Copenhagen's publication Eco-Metropolis. Our Vision for Copenhagen 2015.

OTHER KEY FIGURES

'04	'06	'08	'10	'12	'14	
119	115	117	121	127	134	Kilometres cycled (million km per weekday)
3	4	2.2	4.4	4.2	4.9	Kilometres cycled between each casualty (million km)
15.3	16	16.2	15.8	15.5	16.4	Average cycling speed (km/h)
329	332	338	346	359	368	Cycle lanes (km) *
14	17	18	23	24	28	Cycle lanes (km)
37	39	41	42	43	58	Green Cycle Routes (km)
					115	Cycle Super Highways (km) **
42	47	48	49	51		Bicycle parking facilities on roads and pavements (1,000)

*Includes cycle tracks in Nordhavn **Entire Capital Region of Denmark

2. 自転車駐車場の整備・充実

【23 事例】

2-1. 再開発等に併せた一体的整備.....P.24

- ・駅前広場整備やPFI事業、その他の開発事業等にあわせて自転車駐車場を一体的に整備した事例を掲載。

2-2. 自転車駐車場の複合機能化.....P.31

- ・自転車駐車場を中心として、コンビニエンスストアやカフェ、子育て施設、防災施設、自動車駐車場など他の機能を併設した事例を掲載。

2-3. 自転車駐車場の機能更新・グレードアップ.....P.37

- ・老朽化した自転車駐車場の建替えにあわせたグレードアップ、バイクボックス等のスポーツ自転車への対応、平面駐車場の立体化などを実施している事例を掲載。

2-4. 商店街との連携.....P.40

- ・商店街との連携により、道路空間や空き店舗等を活用して自転車駐車場を確保している事例を掲載。

2-1. 再開発等に併せた一体的整備

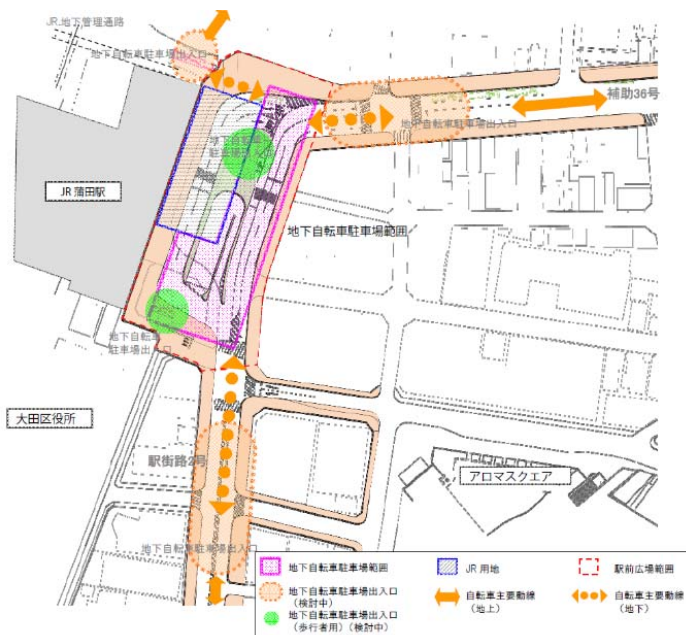
事例1 蒲田駅周辺再編プロジェクト【東京都大田区】

- ・東京都大田区の蒲田駅周辺では、2014（平成26）年より「蒲田駅周辺再編プロジェクト」を展開。
- ・駅周辺整備の一環として、駅東口における地下自転車駐車場を計画段階から検討（3,000台以上の規模）。自転車通行空間から直接アクセスできるよう出入口の配置を考慮し、駅前での歩行者と自転車の分離を計画。

▼蒲田駅東口の計画概要



▼自転車駐車場及び出入口の配置イメージ



▼初動期整備の考え方と主な整備内容

- 収容目標台数
 - ・暫定自転車駐車場の解消と駅周辺の放置自転車へ対応した約 3,000 台の確保（JR用地の活用を含めた検討）
- 整備箇所
 - ・駅に近く収容目標台数を収容するまとまった空間がある駅前広場地下への整備
- 自転車駐車場形式
 - ・事前登録が不要で買物利用者にとって利用しやすく、地上からの入出庫口の数尽量少くてすむ自走による入庫形式
 - ・収容目標台数確保のため、地下1層の自走式平置きと地下からの機械式（水平式）の併用
- 地下自転車駐車場出入口
 - ・駅前広場にアクセスする北・東・南側の3ヶ所への設置
 - ・駅前広場内の自転車通行抑制のため、駅前広場外への設置
 - ・子ども連れや高齢者の利用に対応するための昇降施設の併設
 - ・鉄道利用者の利便性を考慮した、歩行者専用の出入口の設置

出典：大田区ホームページ

2-1. 再開発等に併せた一体的整備

事例2 練馬駅北地下自転車駐車場【東京都練馬区】

- ・東京都練馬区において整備された官民複合施設「ココネリ（Coconeri）」（地下3階、地上8階建）の地階に設けられた有料自転車駐車場。

▼Coconeri 外観



▼自転車駐車場出入口



出典：Coconeri、公益財団法人練馬区環境まちづくり公社ホームページ

2-1. 再開発等に併せた一体的整備

事例3 人形町2丁目地下駐輪場【東京都中央区】

- ・東京都中央区において、PFI事業で整備された複合施設の地下に設けられた自転車駐車場（ICタグ機械式204台）。2010（平成22）年10月竣工。
- ・複合棟（地上9階）には、保育園や人形町区民館、グループホームを配置。駐輪場棟（地上2階・地下1階）の地上部には防災倉庫や町会事務所等を設置。

▼複合棟外観



▼駐輪場棟外観



▼駐輪場棟外観



出典：リンテック株式会社ホームページ

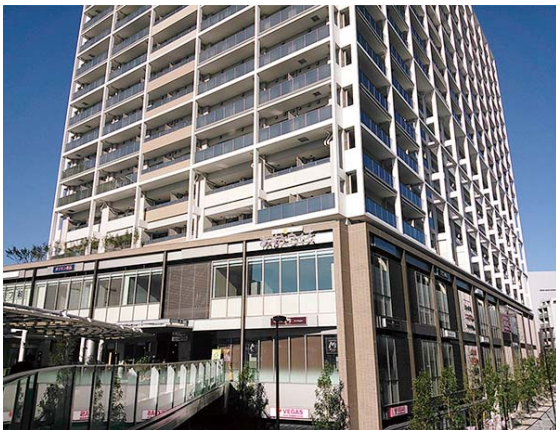
2-1. 再開発等に併せた一体的整備

事例4

あすとウィズ公共自転車駐車場【東京都大田区】

- ・東京都大田区の京急蒲田駅に直結する複合商業施設「あすとウィズ」の地下1階に設けられた自転車駐車場。2015（平成27）年12月竣工。
- ・「京急蒲田西口駅前地区 第一種市街地再開発事業」で区が取得した保留床に整備。当該施設の自転車駐車場に公共自転車駐車場を併設。

▼あすとウィズ外観



▼あすとウィズ自転車駐車場出入口



▼自転車駐車場の様子



出典：公益財団法人自転車駐車場整備センター資料

2-1. 再開発等に併せた一体的整備

事例5 サイクステーションとりで【茨城県取手市】

- ・茨城県取手市にある「サイクルステーションとりで（CST）」は、歩行者デッキを通じて取手駅と直結し、まちの活性化を目指したハイブリッド式自転車駐車場（駐輪場）で、収容台数は機械式駐輪 456 台、自走式駐輪 417 台（うち原動機付自転車 80 台）の合計 873 台。
- ・市民の憩いの場となる屋上広場をはじめ、ロッカールーム、公衆トイレ等の機能を併せ持ち、これまでの駐輪施設にはない高い公共性を配備。

▼サイクルステーションとりで外観



▼屋上広場



▼公衆トイレ



出典：取手市ホームページ

2-1. 再開発等に併せた一体的整備

事例6 姫路駅周辺自転車駐車場【兵庫県姫路市】

- ・兵庫県姫路市では、姫路駅周辺整備事業にあわせて、駅付近の高架下を活用し、計画的に自転車駐車場を配置。

▼姫路駅東口自転車駐車場



撮影：公益社団法人日本交通計画協会

2-1. 再開発等に併せた一体的整備

事例7 新浦安駅第13自転車駐車場【千葉県浦安市】

- ・千葉県浦安市にある複合施設「新浦安駅前プラザマーレ」の1階（機械式）と地下（自走式）に整備された自転車駐車場。PFI事業により整備。
- ・観光インフォメーションセンター、行政サービスセンター、図書サービスコーナー、交番、地域子育て支援センター、駅前認可保育所、カフェ等の施設を併設。

▼プラザ・マーレ外観



出典：新浦安駅前プラザマーレホームページ

▼自走式自転車駐車場（地下）：980台収容



提供：浦安市

▼機械式自転車駐車場（1階）：11基1,028台収容



提供：浦安市

2-1. 再開発等に併せた一体的整備

事例8 尾張一宮駅前ビル（i-ビル）【愛知県一宮市】

- ・愛知県一宮市が合併特例債を用いて整備した複合施設「i-ビル」の1階に設けられた自転車駐車場（162台）。
- ・i-ビルは、JR尾張一宮駅に隣接し、尾張西部の中核都市の新たな玄関口として2012（平成24）年9月28日竣工。図書館や子育て支援センターなどの複合的な施設で、多用途に利用できるのが特徴。
- ・図書館などi-ビル内の公共施設利用者に対し、自転車駐車場を一定時間無料とするなどの工夫を実践。
- ・管理運営主体である自転車駐車場整備センターでは、JR尾張一宮駅周辺の他の自転車駐車場の管理運営も行っており、鉄道利用者がi-ビルの自転車駐車場に集中しないような料金設定を実施。

▼i-ビル外観



出典：尾張一宮駅前ビル（i-ビル）ホームページ

▼i-ビル自転車駐車場



撮影：公益財団法人自転車駐車場整備センター

▼中央図書館（i-ビル5～7階）



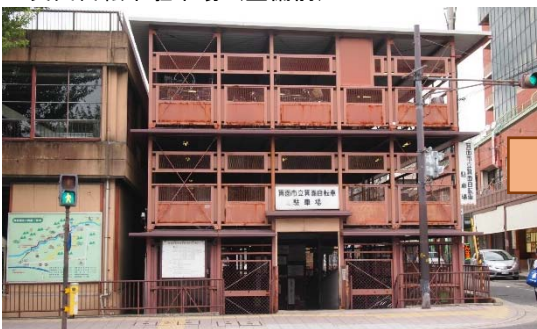
出典：尾張一宮駅前ビル（i-ビル）ホームページ

2-1. 再開発等に併せた一体的整備

事例9 箕面自転車駐車場【大阪府箕面市】

・大阪府箕面市では、1980（昭和55）年に建設された自転車駐車場をPFI事業により建替え。これに併せて1階に地域活性化施設としてブックカフェを併設。

▼箕面自転車駐車場（整備前）



▼箕面自転車駐車場（整備後）



▼併設されたブックカフェ



▼自転車駐車場内の様子



提供：箕面市

2-1. 再開発等に併せた一体的整備

事例10 グランフロント大阪駐輪場【大阪府大阪市】

・JR大阪駅前の再開発エリア「うめきた」（大阪駅北地区）の先行開発区域「グランフロント大阪」に整備された自転車駐輪場。（一社）グランフロント大阪TMOでは、「うめだ、ぐるっと、めぐる＝うめぐる」をコンセプトに、エリア巡回バスの運行、レンタサイクルの営業、既存周辺駐車場との連携による自動車流入抑制に取り組んでいる。

▼駐輪場内の様子



▼梅田巡回バス「うめぐるバス」



▼うめぐるチャリ



▼梅田エリアの駐車場との広報連携



提供：一般社団法人グランフロント大阪TMO うめぐるについては <https://www.grandfront-osaka.jp/umegle/>

2-2. 自転車駐車場の複合機能化

事例 11 吉祥寺大通り北自転車駐車場【東京都武蔵野市】

- ・市有地に「吉祥寺大通り北自転車駐車場」と「吉祥寺方式共同集配送センター」が合築されており、吉祥寺駅周辺の放置自転車対策と荷さばき対策の2つの施策の推進に貢献。
- ・施設の1階はバイク駐車場と共同集配送センター、2階及び3階が自転車駐車場となっている。バイク駐車場及び自転車駐車場は自転車駐車場整備センターが管理運営。

▼吉祥寺大通り北自転車駐車場の外観（壁面緑化）



▼吉祥寺大通り北自転車駐車場の出入口



▼吉祥寺方式共同集配送センター



▼周辺の自転車駐車場の満空表示盤



▼自転車駐車場の様子



撮影：公益財団法人自転車駐車場整備センター

2-2. 自転車駐車場の複合機能化

事例 12 吉祥寺西三条通り自転車駐車場【東京都武蔵野市】

・市有地と民有地の敷地に自転車駐車場と店舗を一体として整備。2つの機能を持つ建物を商店や住宅が混在している地域内に建てるため、地域に融合する意匠とした。建物は、自転車駐車場を管理運営する自転車駐車場整備センターと民有地所有者との区分所有。

▼吉祥寺西三条通り自転車駐車場の外観



▼吉祥寺西三条通り自転車駐車場の出入口



▼1階部分に併設された店舗（楽器店）



▼自転車駐車場の様子



▼出入口の看板表示



撮影：公益財団法人自転車駐車場整備センター

2-2. 自転車駐車場の複合機能化

事例 13

吉祥寺パーキングプラザ公共自転車駐車場

【東京都武蔵野市】

- ・商業施設、事務所、自動車駐車場として建設された民間複合ビルの1階及び2階を武蔵野市が賃借し、自転車駐車場整備センターが整備・管理運営を実施。
- ・スロープの設置等を行い、商業施設から自転車駐車場に改修。
- ・吉祥寺駅周辺は休日の買い物客の自転車利用が多く、一時利用の需要が高まるため、休日は定期利用の空きスペースの一部を臨時一時利用スペースとして有効活用。
- ・武蔵野市のベビーカー貸出サービス事業「ベビ吉」の貸出場所として機能。

▼外観（上層階は自動車駐車場）



▼出入口の様子



▼ベビーカー貸出サービス（計6台で運用）



▼臨時一時利用スペース



▼周辺の自転車駐車場のデジタルサイネージ



▼自転車駐車場内の様子



撮影：公益財団法人自転車駐車場整備センター

2-2. 自転車駐車場の複合機能化

事例 14 三郷駅北口自転車駐車場【埼玉県三郷市】

- ・自転車駐車場を管理運営する自転車駐車場整備センターと、三郷市が設置してシルバー人材センターに管理委託する「自転車利用促進サービスセンター」との合築。
- ・自転車利用促進サービスセンターでは、点検、修理、リサイクル自転車の販売を実施。

▼三郷駅北口自転車駐車場の外観



▼自転車利用促進サービスセンター



▼メンテナンスルーム



提供：三郷市

2-2. 自転車駐車場の複合機能化

事例 15 上牧駅自転車駐車場【大阪府高槻市】

- ・ 駅前の立地を活かし、市有地に自転車駐車場整備センターが管理運営する自転車駐車場、市の行政サービスコーナー、市立図書館の自動図書貸出返却コーナー、公衆トイレの複合施設として整備。
- ・ 行政サービスコーナーと公衆トイレは当初から設置。自動図書貸出返却コーナーは自転車駐車場の一部を改修して設置。

▼上牧駅自転車駐車場の外観



▼自動図書貸出返却コーナー



▼行政サービスコーナー



撮影：公益財団法人自転車駐車場整備センター

2-2. 自転車駐車場の複合機能化

事例 16 近鉄奈良駅中筋自転車駐車場【奈良県奈良市】

- ・近鉄奈良駅前において、用地確保が難しい中、民間の自動車駐車場の上空を利用して自転車駐車場を整備。自転車駐車場整備センターが管理運営。

▼1階：自動車駐車場、2階：自転車駐車場



▼自転車駐車場内の様子



出典：公益財団法人自転車駐車場整備センター資料

2-2. 自転車駐車場の複合機能化

事例 17 福岡市庁舎自転車駐車場【福岡県福岡市】

- ・自転車駐車場の1階部分にコンビニエンスストアを併設。プロ野球チーム「ソフトバンクホークス」やプロサッカーチーム「アビスパ福岡」のグッズも販売。

▼1階：コンビニエンスストア、2階：自転車駐車場



▼自転車駐車場



▼グッズ販売



出典：ホームメイトコンビニリサーチホームページ等

2-3. 自転車駐車場の機能更新・グレードアップ

事例 18 武蔵境駅北口第2自転車駐車場【東京都武蔵野市】

- ・老朽化した武蔵野市所有の施設を建替え、自転車駐車場整備センターが整備・管理運営。
- ・建替えにあたり、LED照明、搬送コンベア、防犯カメラの更新、自動ゲートの設置等を行い、利便性・安全性を向上。
- ・建替えにより地下1層、3階部分が増え、施設の収容台数も大幅に増加。

建替え前		建替え後	
			
			
構造・規模：鉄骨造2階建 屋上使い（市所有施設） 建築面積：- m² 延床面積：- m² 収容台数：662台（自転車） その他設備：無し		構造・規模：鉄骨造3階建 地下1階 屋上使い 建築面積：505.71m² 延床面積：2,046.64m² 収容台数：1,604台（自転車） その他設備：LED照明・搬送コンベア・防犯カメラ 自動ゲート・精算機・定期更新機	

▼建替え後の外観



▼自転車駐車場の様子



▼屋上の様子



出典：公益財団法人自転車駐車場整備センター資料

2-3. 自転車駐車場の機能更新・グレードアップ

事例 19 近江八幡駅南自転車駐車場【滋賀県近江八幡市】

・屋根外部の遮熱塗装、内装工事、LED 照明や防犯カメラの取り替え工事等を実施し、利用者の安全性、利便性の向上を実現。自転車駐車場整備センターが大規模修繕及び管理運営。



▼修繕後の外観



▼自転車駐車場の様子



出典：公益財団法人自転車駐車場整備センター資料

2-3. 自転車駐車場の機能更新・グレードアップ

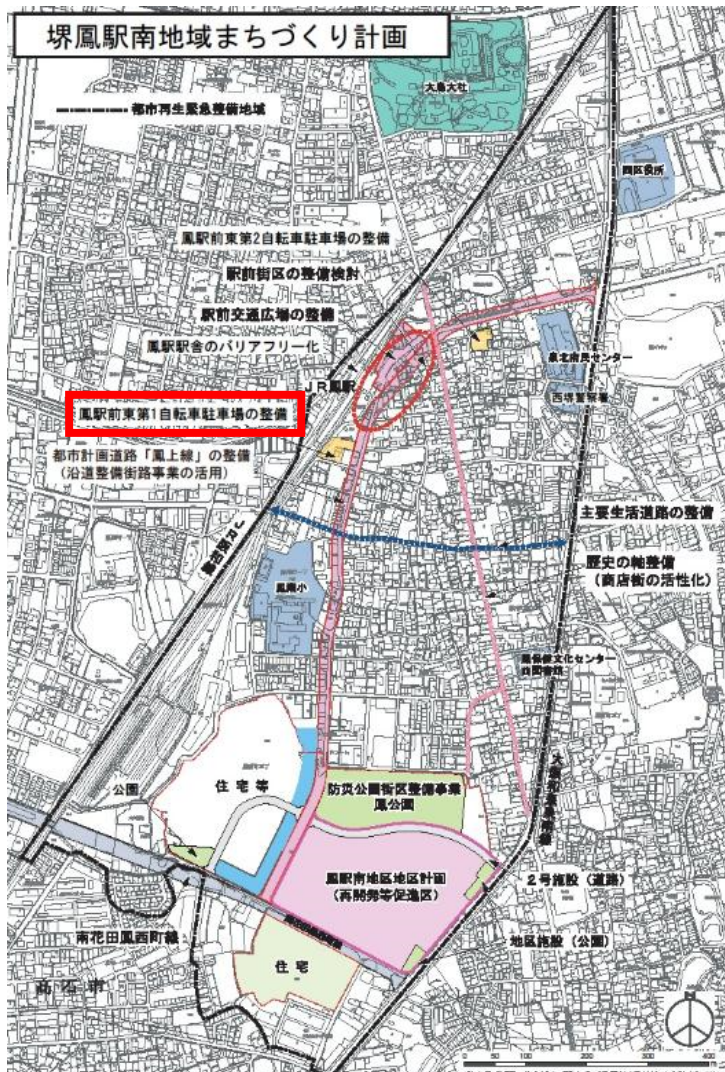
事例 20 鳳駅前東第1自転車駐車場【大阪府堺市】

・堺市の「堺鳳駅南地域まちづくり計画」により、市の平面式有料施設を立体集約化。自転車駐車場整備センターが管理運営。

▼鳳駅前東第1自転車駐車場の外観



▼自転車駐車場内の様子



●地域の整備方針

まちづくり機運の醸成を高め、「公民協働によるまちづくり」を基本的な考え方として進めます。

ア) 地域の骨格となる都市基盤施設の整備を推進します。

- ・都市計画道路「鳳上線」の整備（事業中、※平成 30 年度末に完成予定）
- ・都市計画道路「南花田鳳西町線」の整備（事業完了、※都市再生緊急整備地域内）
- ・駅前交通広場の整備（事業中）
- ・近隣公園「鳳公園」の整備（事業完了）
- ・**自転車等駐車場の整備（事業完了）**
- ・鳳駅駅舎のバリアフリー化（事業完了）

出典：堺市ホームページ
<http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/otoriminami.html>
 （平成 29 年 1 月 17 日更新）

2-3. 自転車駐車場の機能更新・グレードアップ

事例 21 ES21 新宿駅東南口自転車駐輪場【東京都新宿区】

- ・一般の駐輪スペースに加えて、自転車ロッカー「B-box」を配備（定期利用：1ヶ月 8,600円／3ヶ月 24,900円／6ヶ月 48,000円、一日一回 500円でも利用可、駐輪場管理運営：日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社）。

▼新宿駅東南口自転車駐輪場



▼自転車ロッカー「B-box」



撮影：公益社団法人日本交通計画協会

2-4. 商店街との連携

事例 22 路上駐輪施設帯の設置【東京都八王子市】

- ・買い物客による短時間の自転車駐輪への対応を図るため、商店街内に「路上駐輪帯」や「サインラック（可動式駐輪器具）」といった小規模な駐輪施設を配置。

▼路上駐輪帯



▼サインラック（可動式駐輪器具）



出典：八王子市ホームページ

2-4. 商店街との連携

事例 23 空き店舗等の活用による駐輪場整備【香川県高松市】

・高松市では、自転車等の駐車需要の著しい地域または駐車需要が著しくなることが予想される地域において、民間事業者または民営事業者が実施する自転車等駐車場施設整備事業に必要な経費の一部を補助することにより、自転車等駐車場の整備促進を図り、快適に自転車等を利用することができるまちづくりに資することを目的とし、補助金交付要綱を設定。

◆役割分担について

- ・設置主体は商店街振興組合等であり、市はその整備および管理運営に補助する。
あらかじめ、商店街振興組合等より自転車等駐車場整備予定地（空き店舗等）の場所、家賃、整備予定金額等の相談を受け、近隣の状況、価格等を検討し、申請可能と認めた場合、申請書の提出を受けている。

※補助率：整備費の67%以内、管理運営（賃借料）の67%以内

◆実施効果

- ・整備した自転車等駐車場の利用は多く、常に満車に近い状況であり、放置自転車の縮減に寄与している。



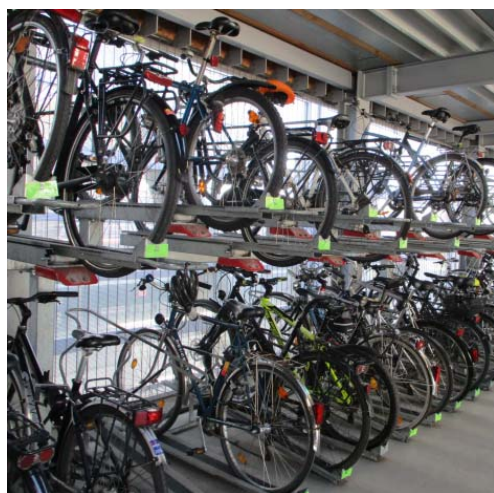
出典：自転車等駐車場の整備のあり方に関するガイドライン（第2版）
（平成28年9月、国土交通省都市局街路交通施設課）

海外事例

topics

自転車を含む多様な交通をつなぐ結節点 ドイツ・キール「Umsteiger」

- ・ 駅舎に隣接して、自転車や公共交通の活用推進の拠点“Umsteiger”（「乗継」「乗換」の意味）を設置。屋内駐輪場とバス案内所が入居。EV カーシェアリングを含む駐車場も隣接。2010年1月完成。
- ・ 収容台数 620 台、全体の事業費 2.15M ユーロ（約 2.5 億円）。
- ・ 利用料金は 1 日 0.7 ユーロ、1 カ月 7 ユーロ、1 年 70 ユーロ。1 年 90 ユーロで駐輪場所を固定。



出典：公益財団法人自転車駐車場整備センター資料

3. サイクステーション

【4 事例】

- ・一般の自転車駐車場ではなく、スポーツ車を安心して駐輪することができるサイクルラックやロッカールーム、シャワー室、メンテナンス工具、カフェ等の飲食店、レンタサイクル、宿泊施設などを併設した「サイクステーション」（自転車利用者へのサービス提供施設）に関する事例を掲載。

事例1 HIBIYA RIDE【東京都千代田区】

- ・日比谷公園の地下にある自転車通勤者向けのサイクステーション。有人でのバイクストレージスペース、保管用専用ロッカー、バイクウェア用乾燥室、更衣ロッカールーム、シャワー等を完備。



提供：東日本高速道路株式会社

事例2 宮サイクステーション【栃木県宇都宮市】

- ・宇都宮市では、「自転車のまち宇都宮」の推進のため、自転車利用者のための施設として、JR宇都宮駅西口に「宮サイクステーション」を設置。休憩スペース、トイレ、自転車工具、空気入れ等を無料で使用できるほか、有料サービスとしてレンタサイクル、シャワー、ロッカーを完備。



出典：宇都宮市ホームページ

事例 3

今治市サイクリングターミナル (サンライズ糸山)

【愛媛県今治市】

- ・「しまなみ海道」サイクリングの四国側の拠点。レンタサイクルや宿泊等のサービスを提供。今治市が開設し、一般財団法人今治市勤労福祉事業団が指定管理者として管理運営。

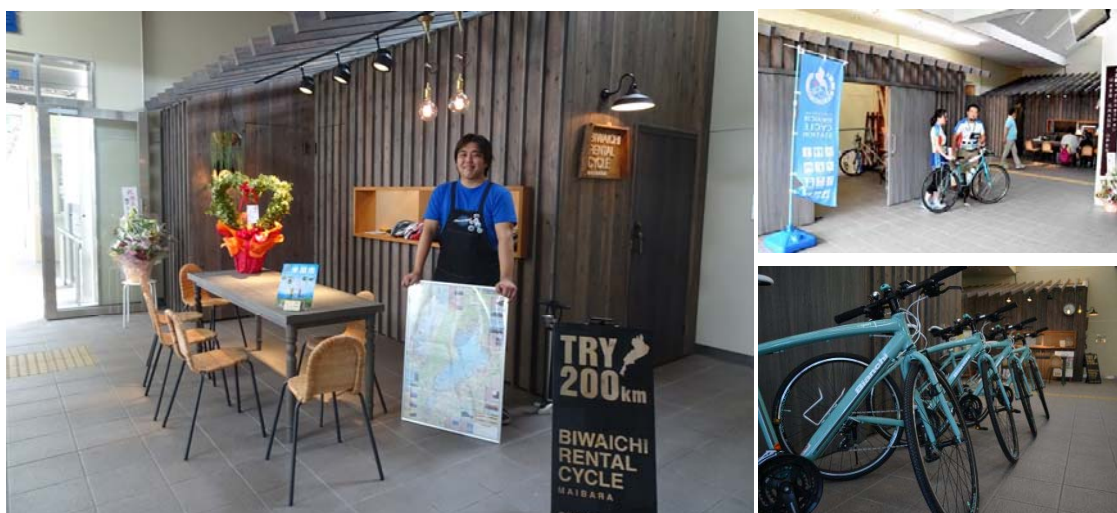


提供：今治市サイクリングターミナル サンライズ糸山

事例 4

米原駅サイクルステーション【滋賀県米原市】

- ・2016（平成 28）年 10 月、琵琶湖一周「ビワイチ」や市内観光サイクリングの新たな拠点として、全国初となる新幹線駅直結型サイクルステーション「米原サイクルステーション」を米原市が開設し、NPO 法人五環生活が管理運営。スポーツ自転車のレンタル等を実施し、有料サービスとしてシャワーが利用可能。



提供：米原市

海外事例

topics

大学キャンパス内のサイクステーション Portland State University "PSU Bike Hub"

- ・ポートランド州立大学（Portland State University：PSU）のキャンパス内で行われている自転車プロジェクトの本拠地となっているサイクステーション。
- ・大学が運営主体となり、自転車店や学生用レンタサイクル（120 台）のほか、防犯装置のある安全な駐輪場（7 箇所）を管理運営。
- ・大学キャンパス内の駐車場の一部に設けられており、キャンパス内の駐車場の料金収入を公共交通のチケットを購入するための補助金に活用したり、Bike Hub に関するプロジェクトの助成金の一部として利用。
- ・120 台のレンタサイクルの多くは放置自転車を回収して修理したものであり、1 ヶ月 15 ドルで学生に貸し出している。15 ドルはレンタル料だけでなく、Bike Hub や 7 箇所の駐輪場の利用料も含まれている。春・秋・冬の各学期には、120 台のレンタサイクルがほぼすべて稼働。
- ・他のサービスとして、訓練を受けたスタッフが修理場を使って学生に自転車のメンテナンス方法を教えたり、パンクタイヤの交換等の指導を実施。また、学生に多くの自転車利用を促すイベント「PSU BIKE CHALLENGE」を実施するなど、楽しいサイクリング・ライフを送るための取り組みを展開。



撮影：公益社団法人日本交通計画協会

4. コミュニティサイクル・レンタサイクル

【5 事例】

4-1. ICTの活用によるコミュニティサイクルシステムの導入……P.48

- ・都市内の限定的なエリアにおいて複数のサイクルポートを配置し、どのポートでも借用・返却できるよう、ICTを活用してシステム化したコミュニティサイクルの事例を掲載。

4-2. 自転車駐車場の活用……………P.51

- ・自転車駐車場とサイクルポートを併設、あるいは自転車駐車場の一部スペースをサイクルポートとして活用し、コミュニティサイクルやレンタサイクルを展開している事例を掲載。

4-1. ICTの活用によるコミュニティサイクルシステムの導入

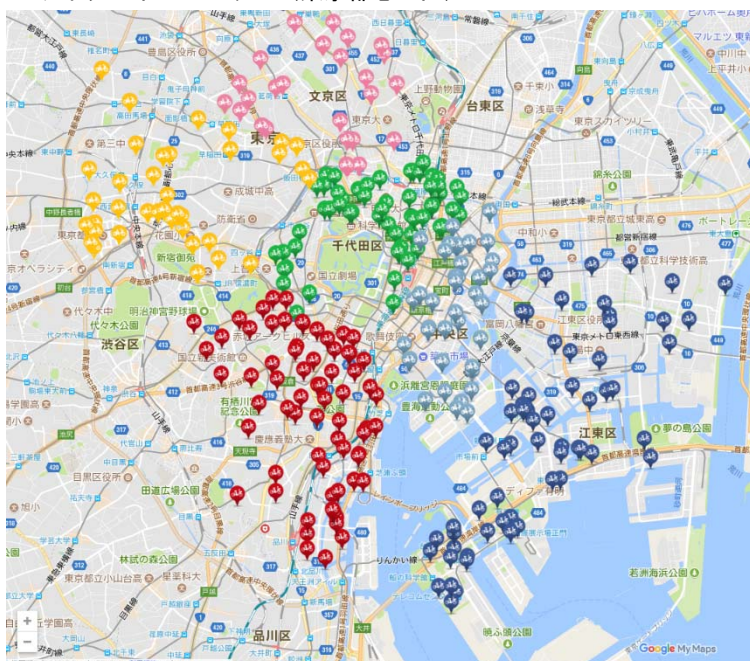
事例 1

自転車シェアリング広域実験

【東京都千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、江東区】

- ・自転車約 3,710 台、ポート 274 箇所（平成 29 年 3 月 31 日）
- ・公設民営事業（実施主体：各区、運営主体：(株)ドコモバイクシェア）
- ・電動アシスト自転車を用いて、車両本体にロック機構を搭載した「ラックレス」システム（自転車の貸出・返却を管理するための駐輪機器が不要なシステム）。
- ・平成 28 年 2 月から東京都心 4 区（千代田区、中央区、港区、江東区）の相互乗り入れ実証実験を開始。平成 28 年 10 月から新宿区、平成 29 年 1 月から文京区が加わり、都心 6 区で国内最大のサービスを提供。

▼サイクルポートマップ（東京都心 6 区）



出典：Google Map

▼サイクルポート



提供：江東区

▼自転車を管理する端末機



▼ICカードで利用



▼全て電動アシスト自転車



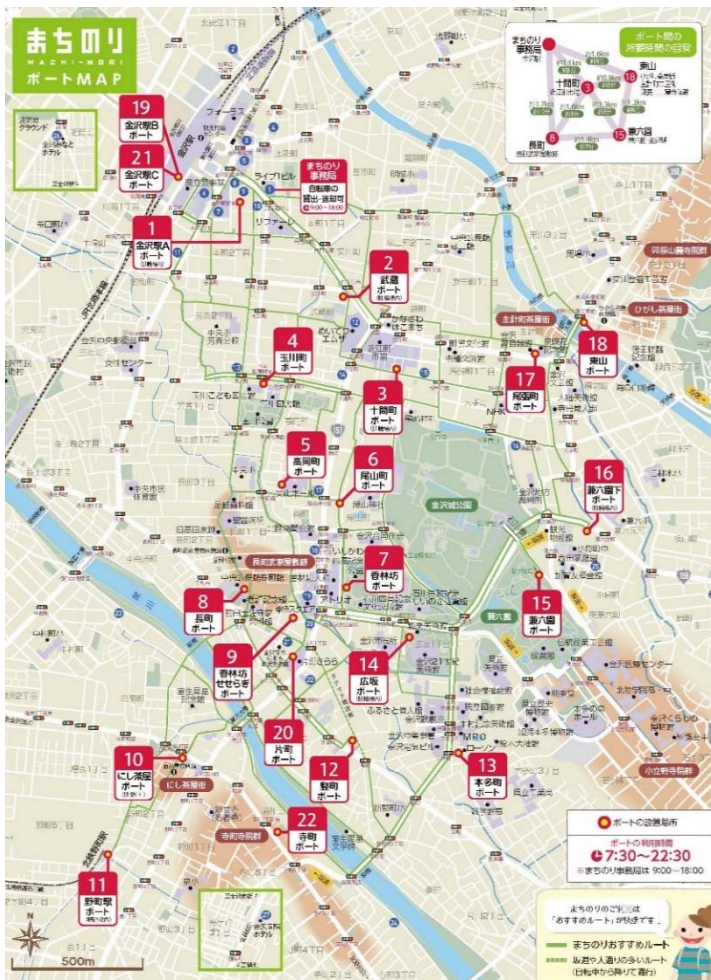
撮影：公益財団法人
自転車駐車場整備センター

4-1. ICTの活用によるコミュニティサイクルシステムの導入

事例2 金沢市公共レンタサイクル「まちなり」

- ・自転車 155 台、ポート 22 箇所（平成 29 年 2 月末現在）
- ・公設民営事業（実施主体：金沢市、運営主体：(株)日本海コンサルタント）
- ・「まちなり＝街の利」（まちのために）をコンセプトに、サイクルポート周辺地域との連携やサイクリングツアーの実施等、数多くの自転車まちづくり活動を積極的に展開。

▼サイクルポートマップ



▼サイクルポート（東山）



▼サイクルポート周辺の商店と連携した「まちなりクーポン」



▼端末機のタッチパネルを操作してクーポンを発券し、加盟店で特典を得る



▼電動アシスト自転車「まちなりハイブリッド」を活用したサイクリングツアーの実施



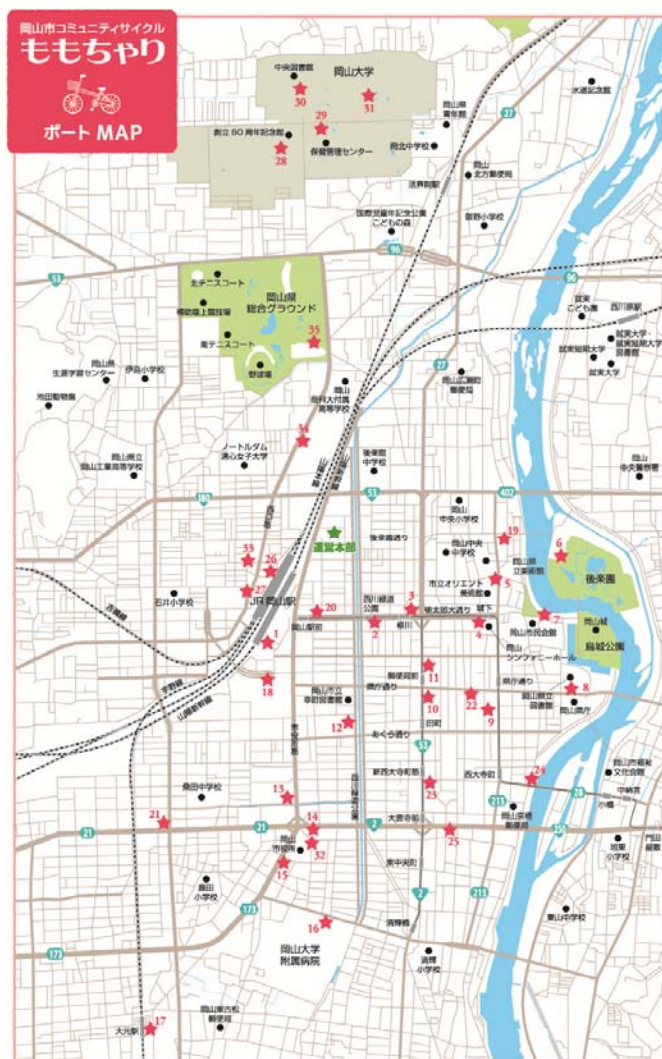
提供：金沢市公共レンタサイクルまちなり事務局

4-1. ICTの活用によるコミュニティサイクルシステムの導入

事例3 岡山市コミュニティサイクル「ももちゃり」

- ・自転車 332 台、ポート 35 箇所（平成 29 年 2 月末現在）
- ・公設民営事業（実施主体：岡山市、運営主体：中央復建コンサルタンツ(株)）
- ・大型ショッピングセンター、大学、医療施設等との連携によるサイクルポートの増設など、サービス拡大を推進。

▼サイクルポートマップ



提供：中央復建コンサルタンツ(株)

▼サイクルポート（岡山駅）



▼ICカードで利用



▼三井のリパークと連携し、ももちゃり利用者に対して岡山市役所前駐車場の料金割引を実施し、都心内への自動車流入抑制を図る



提供：三井のリパーク

4-2. 自転車駐車場の活用

事例4 世田谷区レンタサイクル「がやリン」

- ・世田谷区内6駅6箇所の自転車駐車場のうち、4箇所（桜上水南・三軒茶屋中央・桜新町・等々力）でコミュニティサイクル、2箇所（三軒茶屋北・成城北第二）でレンタサイクルを併設（経堂駅前ではコミュニティサイクルポート単独で設置）。京王、小田急、東急の各鉄道駅間をつなぐ端末交通として利用。



提供：世田谷区

4-2. 自転車駐車場の活用

事例5 高松市レンタサイクル

- ・市内中心部に7箇所のレンタサイクルポートを設置（自転車駐車場の一部スペースを活用）。利用する自転車約1,250台はリサイクル自転車を活用。



撮影：公益財団法人自転車駐車場整備センター

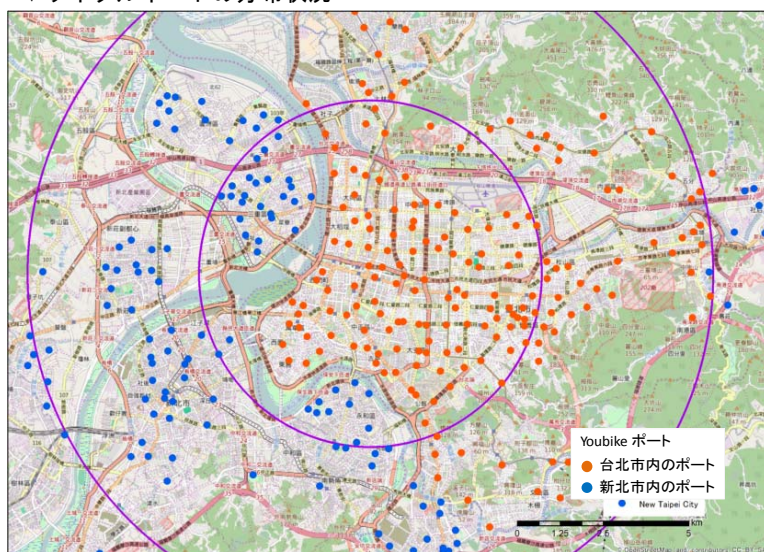
海外事例

topics

台湾・台北市「You Bike」

- ・台北市では、増大するバイクや自家用車からの転換による環境悪化の改善を目的に、コミュニティサイクル「You Bike」を導入。実施主体は台北市、運営主体はジャイアント。
- ・自転車約 5,200 台、ポート約 230 箇所と大規模なサービスであり、回転率（自転車 1 台 1 日あたりの利用回数）は約 12 回/台・日。
- ・「You Bike」は 2009 年の導入当初、規模が小さいことや利用登録の複雑さなどの問題から利用が低迷していた。しかし、2011 年にシステム変更と市全域への拡大を実施後、急速に利用が増加。
- ・「You Bike」の導入後、台北市の交通手段分担率において自転車の割合が増加するとともに、自動車・バイクの分担率が減少（自動車利用の抑制効果）。
- ・公共交通との統合的なサービスを提供するため、地下鉄駅やバス停に近接してサイクルポートを設置。

▼サイクルポートの分布状況



▼地下鉄駅直近のポート



▼バス停直近のポート



出典：自転車等駐車場の整備のあり方に関するガイドライン（第2版）（平成 28 年 9 月、国土交通省都市局街路交通施設課）、金沢市公共レンタサイクルまちのりブログ（平成 28 年 4 月 10 日）

5. 自転車利用促進

【8 事例】

5-1. 公共交通との連携.....P.54

- ・サイクル&バスライドやサイクルトレイン、自転車ラックバス、自転車駐車場と公共交通の料金連携等、公共交通との連携（交通モード間の利用促進）を実施している都市や民間事業者の事例を掲載。

5-2. 自転車駐車場利用者へのサービス向上.....P.56

- ・WEBサイトやデジタルサイネージによる総合的な情報提供、自転車修理取り次ぎサービス、商店街における自転車駐車場利用者へのインセンティブ等、自転車駐車場利用者へのサービス向上に関する事例を掲載。

5-1. 公共交通との連携

事例1 サイクル&バスライド

・バス停の直近に自転車駐車を整備することで、自転車とバスの連携を促進。

▼神奈川県茅ヶ崎市



出典：茅ヶ崎市ホームページ

▼栃木県宇都宮市



提供：宇都宮市

5-1. 公共交通との連携

事例2 サイクルトレイン

・鉄道駅構内やホーム、車両の中に自転車を持ち込めるようにすることで、自転車と鉄道の連携を促進。

▼秩父鉄道（埼玉県）



提供：秩父鉄道株式会社

▼上毛電気鉄道（群馬県）



出典：上毛電気鉄道ホームページ

5-1. 公共交通との連携

事例3 自転車ラックバス・タクシー

- ・バスやタクシーに自転車を積めるラックを設置。

▼神奈川中央交通（神奈川県）



▼松江一畑交通（島根県）



出典：神奈川中央交通、松江一畑交通ホームページ

5-1. 公共交通との連携

事例4 公共交通との料金連携

- ・富山市自転車共同利用システム「アヴィレ」（運営：シクロシティ株式会社）では、富山ライトレールICカード「パスカ」、富山地方鉄道ICカード「えこまいか」との料金連携を実施。パスカ・えこまいかを使ってアヴィレの利用者登録をする場合は 500 円／月となり、通常の利用者カードで登録する場合に比べて 200 円／月の割引。
- ・福岡市交通局では、地下鉄と駅駐輪場の共通定期券「乗っチャリパス」を提供（地下鉄定期料金（JR・西鉄連絡定期料金）+ 駐輪場定期料金 - 割引額 = 乗っチャリパス料金）。

▼富山市「アヴィレ」と路面電車



出典：シクロシティ富山スタッフブログ

▼福岡市交通局「乗っチャリパス」

地下鉄と駐輪場の共通定期券 乗っチャリパス

地下鉄定期券 + 駐輪場定期券 = 乗っチャリパス

地下鉄定期券と駐輪場定期券を組み合わせて割引をしたお得な定期券。お申し込みは各駅の乗っチャリパス窓口で。

通勤（大人）				通学（大人）			
期間	乗付	地下鉄料金	駐輪場料金	割引額	乗付	地下鉄料金	駐輪場料金
1ヶ月	乗付	1,900円	2,900円	900円	1ヶ月	乗付	1,200円
3ヶ月	乗付	5,400円	8,200円	2,700円	3ヶ月	乗付	3,400円
6ヶ月	乗付	10,200円	15,600円	5,400円	6ヶ月	乗付	6,400円
							9,700円
							発売額

※対象の駐輪場については、運賃下水道局管理駐輪場（TEL 092-711-4468）にお尋ねください。

提供：福岡市

5-2. 自転車駐車場利用者へのサービス向上

事例5 商店街との連携

- ・兵庫県伊丹市では、市営自転車駐車場や市内加盟店を利用することで、地域通貨「いたみんポイント」が貯まる制度を導入。

▼兵庫県伊丹市「いたみんポイント」



出典：いたみんポイントサービスホームページ

5-2. 自転車駐車場利用者へのサービス向上

事例6 情報提供の充実

- ・デジタルサイネージを活用し、吉祥寺パーキングプラザ公共自転車駐車場では近隣駐輪場の満空情報や交通安全情報、東村山駅西口地下駐輪場（他2箇所）では地域情報、鉄道運行情報、時事ニュース、緊急情報等を発信。

▼吉祥寺パーキングプラザ公共自転車駐車場



▼東村山駅西口地下駐輪場



撮影：公益財団法人自転車駐車場整備センター

5-2. 自転車駐車場利用者へのサービス向上

事例7 宅配便との連携

・久米川駅北口駐輪場（他5箇所）では、指定管理者であるサイカパーキング(株)、事業を展開するパックスティジャパン(株)、運送会社のヤマト運輸(株)の協力のもと、駐輪場内で荷物等を受け取れる行政管理施設では都内初の「オープン型宅配便ロッカー」を設置。



撮影：公益財団法人自転車駐車場整備センター

5-2. 自転車駐車場利用者へのサービス向上

事例8 自転車修理取り次ぎサービス

・北九州市の小倉駅南口・北口自転車駐車場では、自転車利用促進と駐輪場の更なる活用を目的として、「自転車修理取り次ぎサービス」を実施。

小倉駅南口・北口自転車駐車場における 自転車修理取り次ぎサービスの実施についてのお知らせ

小倉駅南口と北口の
市営有料自転車駐車場で
自転車修理の取り次ぎ
サービスを開始しました。



目的

本市では、「北九州市都市公園、公園、駐車場等の設置及び管理に関する条例」に基づき、駅周辺に市営有料自転車駐車場を設置しています。
本年度より、「北九州市自転車利用環境計画」に基づき、自転車の利用を促進し、施設の更なる活用を目的として、自転車駐車場における自転車利用促進事業を実施することとしており、下記のとおり自転車修理取り次ぎサービスを実施することとしました。

<自転車修理取り次ぎサービスの概要>

1. 受付場所
 - ・小倉駅南口自転車駐車場
 - ・小倉駅北口自転車駐車場
2. 受付時間
 - ・自転車駐車場の利用時間（午前6時から午後10時まで）に受付（例えば、通勤・通学前に自転車を預けて、帰宅時に修理が終わった自転車を受け取るといったことが可能）。
3. 受付方法
 - ・修理依頼者が「自転車修理依頼書」に必要事項を記入し、駐車場管理員が依頼書の受付を行い、自転車修理業者へ取り次ぎ。
4. 修理代金
 - ・修理の実費相当額
 - ※修理依頼後に自転車修理業者が見積を行い、依頼者へ連絡。依頼者が見積内容を確認した後に修理を実施。

出典：ホームページ「スマートサイクルライフ北九州」

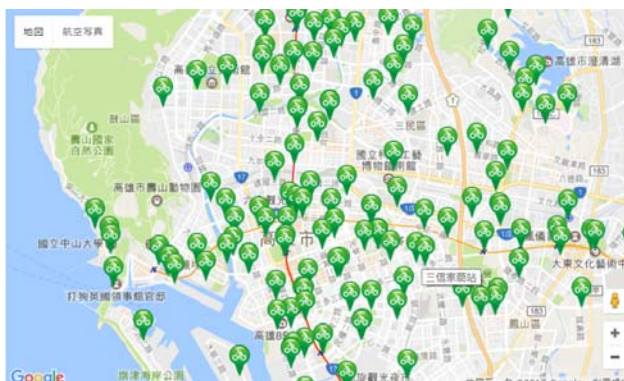
海外事例

topics

台湾・高雄市「自転車と公共交通の連携」

- ・高雄市は、台湾南部に位置する人口約 280 万人の都市であり、台湾最大の工業都市として発展してきた。経済発展の一方、工業活動や自動車・原付バイクの普及にともなう大気汚染の影響から、現在、公共交通を軸とする生活スタイルへの転換にチャレンジ。
- ・運営事業者である「高雄捷運」（通称：高雄メトロ、KRTC【Kaohsiung Rapid Transit Corp.】）は、地下鉄、LRT、バス、そして自転車シェアリング「City Bike」（自転車 2,400 台、ポート 185 箇所）といった公共交通全般の統合的サービスを提供（高雄市からの運営委託）。
- ・地下鉄等の公共交通利用者の「ラストワンマイル」を支える移動手段として位置づけ、地下鉄駅の直近部にサイクルポートを配置するなど、自転車と公共交通の連携を促進。

▼サイクルポートの分布状況（市中心部）



▼City Bike



▼地下鉄やLRTの駅直近に配置されたサイクルポート



▼共通 IC カードで利用



▼地下鉄駅構内の地図に「公共腳踏車」を表記



出典：高雄捷運ホームページ、金沢市公共レンタサイクルまちのりブログ（平成 28 年 11 月 27 日、12 月 4 日）

自転車まちづくり事例集

発行：公益財団法人 自転車駐車場整備センター

編集：公益社団法人 日本交通計画協会